

2. 市政モニターアンケート「大阪市の自殺対策について」(平成29年6月実施)の結果

【調査目的】 大阪市では、国における「自殺総合対策大綱」に基づいて、平成21年4月に「大阪市自殺対策基本指針」を策定し、『安心して暮らせる街 大阪市』の実現に向けて自殺対策の取組を推進しています。今回のアンケートでは、市民の皆様の自殺とその対策に関する認知度や関心度についてお聞きし、今後の自殺対策の取組の参考とさせていただくため、調査を実施しました。

【実施期間】 平成29年6月30日～7月10日

【調査票】 調査票(データ添付)

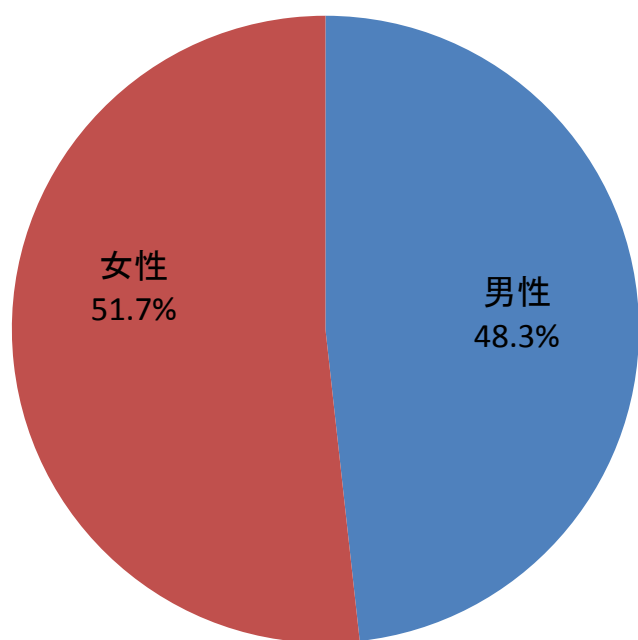
【留意点】 ※質問文及び選択肢などの長い文章については、簡略化して表示している場合があります。
 ※数値(%)は、各実数を元に比率表示し、小数第2位を四捨五入しています。
 したがって、内訳の合計が全体の計に一致しないことがあります。
 また、複数回答の質問については、回答者数を母数に比率表示しています。

【回答者数と内訳】

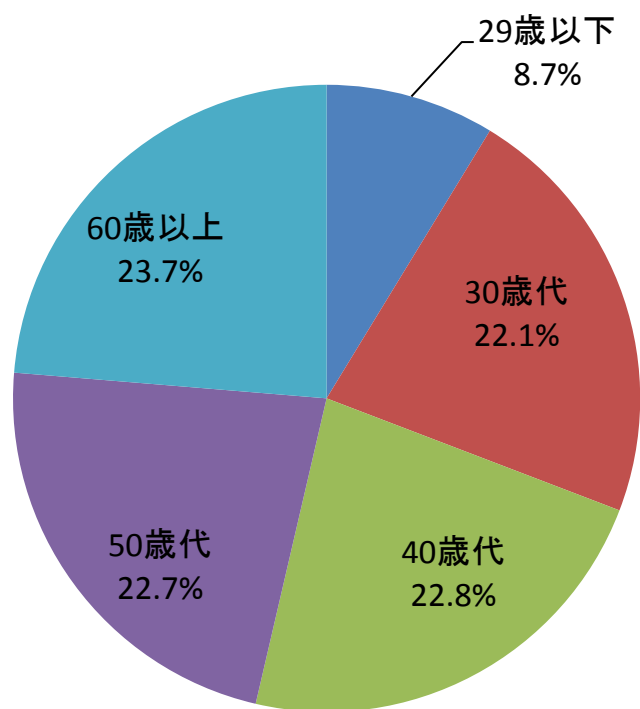
688名/800名 (回答率86.0%)

年代		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
性別	男性	17	52	82	80	101	332
		5.1%	15.7%	24.7%	24.1%	30.4%	100.0%
	女性	28.3%	34.2%	52.2%	51.3%	62.0%	48.3%
		43	100	75	76	62	356
合計	12.1%	28.1%	21.1%	21.3%	17.4%	100.0%	
	71.7%	65.8%	47.8%	48.7%	38.0%	51.7%	
合計	60	152	157	156	163	688	
	8.7%	22.1%	22.8%	22.7%	23.7%	100.0%	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

回答者男女構成比



回答者年代別構成比



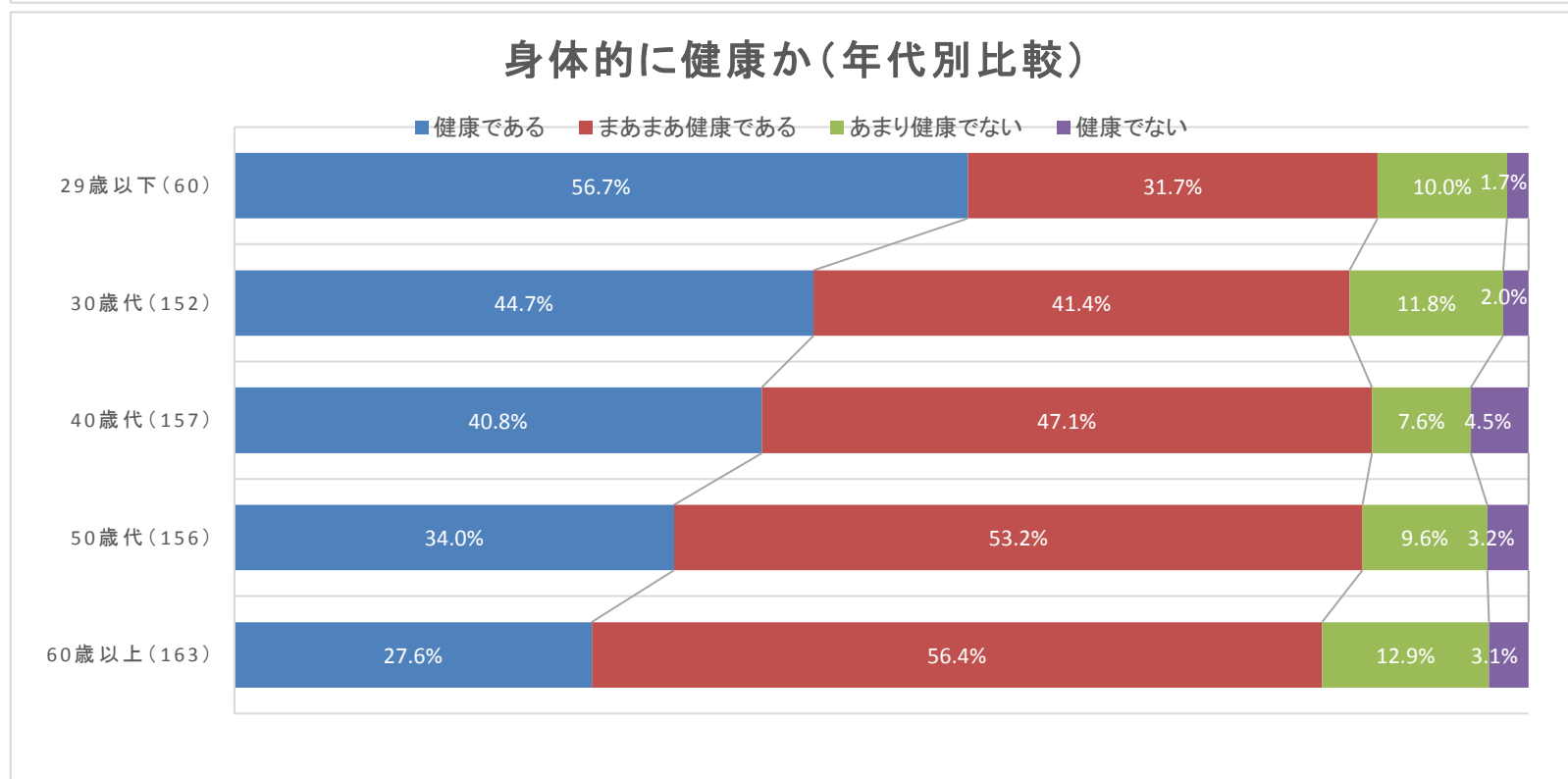
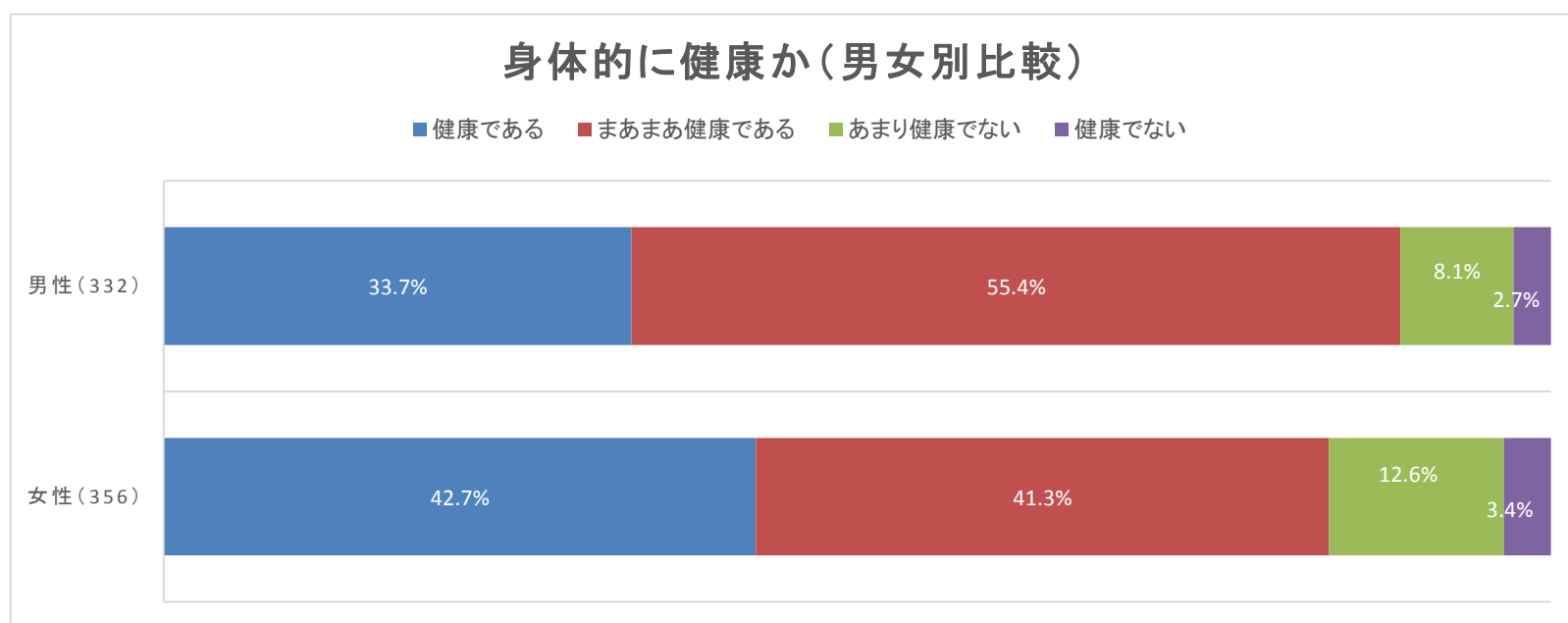
【結果の概要】

問1 現在、あなたは身体的に健康ですか。

	男性 (332名)		女性 (356名)		モニター全体 (688名)	
健康である	112	33.7%	152	42.7%	264	38.4%
まあまあ健康である	184	55.4%	147	41.3%	331	48.1%
あまり健康でない	27	8.1%	45	12.6%	72	10.5%
健康でない	9	2.7%	12	3.4%	21	3.1%
合計	332	100.0%	356	100.0%	688	100.0%

	29歳以下 (60名)		30歳代 (152名)		40歳代 (157名)		50歳代 (156名)		60歳以上 (163名)		モニター全体 (688名)	
健康である	34	56.7%	68	44.7%	64	40.8%	53	34.0%	45	27.6%	264	38.4%
まあまあ健康である	19	31.7%	63	41.4%	74	47.1%	83	53.2%	92	56.4%	331	48.1%
あまり健康でない	6	10.0%	18	11.8%	12	7.6%	15	9.6%	21	12.9%	72	10.5%
健康でない	1	1.7%	3	2.0%	7	4.5%	5	3.2%	5	3.1%	21	3.1%
合計	60	100.0%	152	100.0%	157	100.0%	156	100.0%	163	100.0%	688	100.0%

- 全体の傾向
 - ・「健康である」、「まあまあ健康である」と回答された方は合わせて86.5%と健康だと考えている人の割合は高い。
- 性別による傾向
 - ・「あまり健康でない」、「健康でない」と回答された方は男性が10.8%、女性が16.0%で女性の方が多。
- 年代別の傾向
 - ・年代が上がるにつれて「健康である」と回答された方の割合が減少しているが、「まあまあ健康である」を含めた割合では年代ごとの差はあまり見られない。



問2 現在、あなたは精神的に健康ですか。

	男性 (332名)		女性 (356名)		モニター全体 (688名)	
健康である	117	35.2%	133	37.4%	250	36.3%
まあまあ健康である	166	50.0%	171	48.0%	337	49.0%
あまり健康でない	39	11.7%	42	11.8%	81	11.8%
健康でない	10	3.0%	10	2.8%	20	2.9%
合計	332	100.0%	356	100.0%	688	100.0%

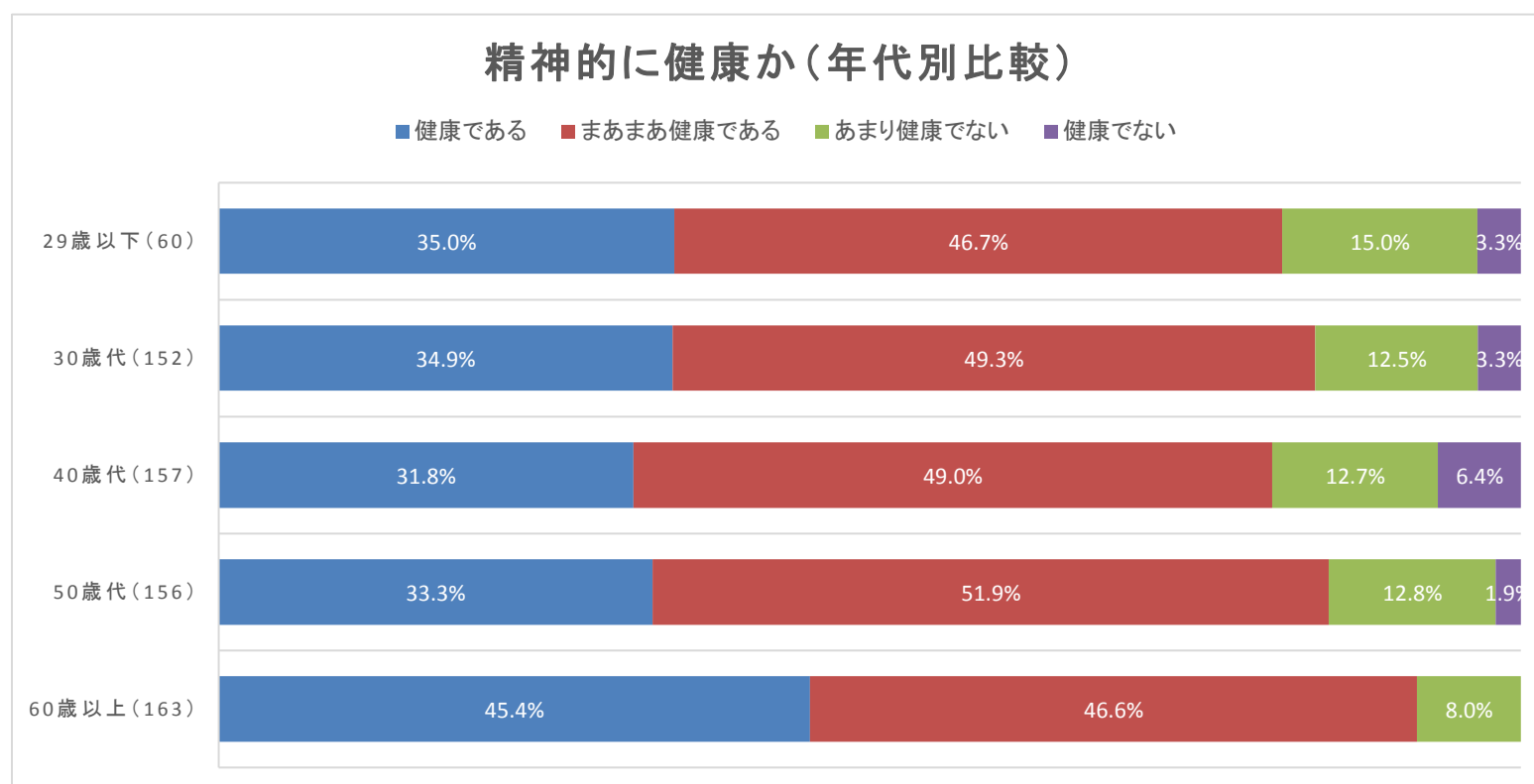
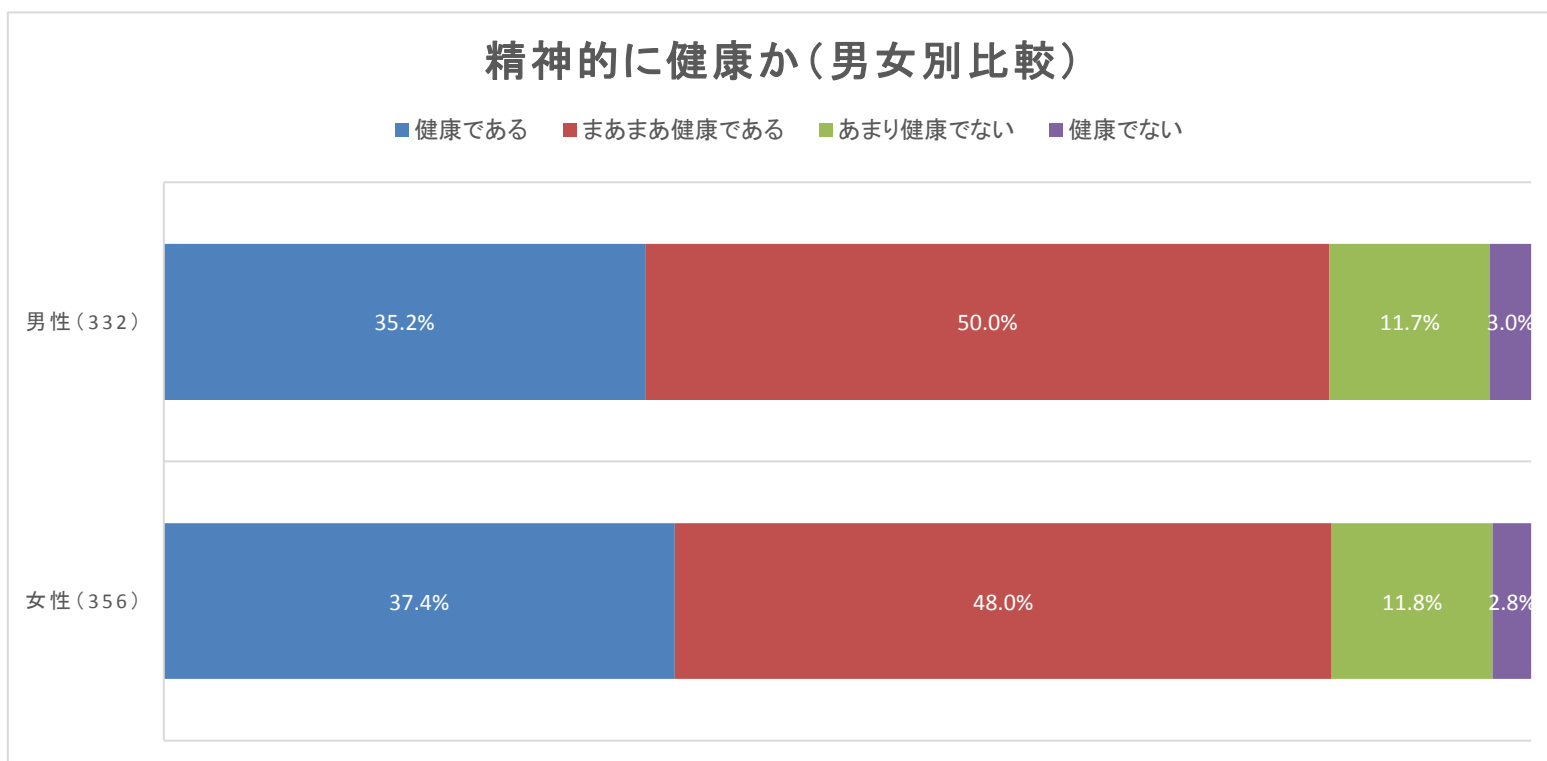
	29歳以下 (60名)		30歳代 (152名)		40歳代 (157名)		50歳代 (156名)		60歳以上 (163名)		モニター全体 (688名)	
健康である	21	35.0%	53	34.9%	50	31.8%	52	33.3%	74	45.4%	250	36.3%
まあまあ健康である	28	46.7%	75	49.3%	77	49.0%	81	51.9%	76	46.6%	337	49.0%
あまり健康でない	9	15.0%	19	12.5%	20	12.7%	20	12.8%	13	8.0%	81	11.8%
健康でない	2	3.3%	5	3.3%	10	6.4%	3	1.9%	0	0.0%	20	2.9%
合計	60	100.0%	152	100.0%	157	100.0%	156	100.0%	163	100.0%	688	100.0%

●全体の傾向

- ・「健康である」、「まあまあ健康である」と回答された方は合わせて85.3%と健康だと考えている人の割合は高い。

●年代別の傾向

- ・「健康である」、「まあまあ健康である」と回答された方は29歳以下で81.7%、30歳代で84.2%、40歳代で80.9%、50歳代で85.3%、60歳以上で92.0%と60歳以上でだけ90%を超えている。

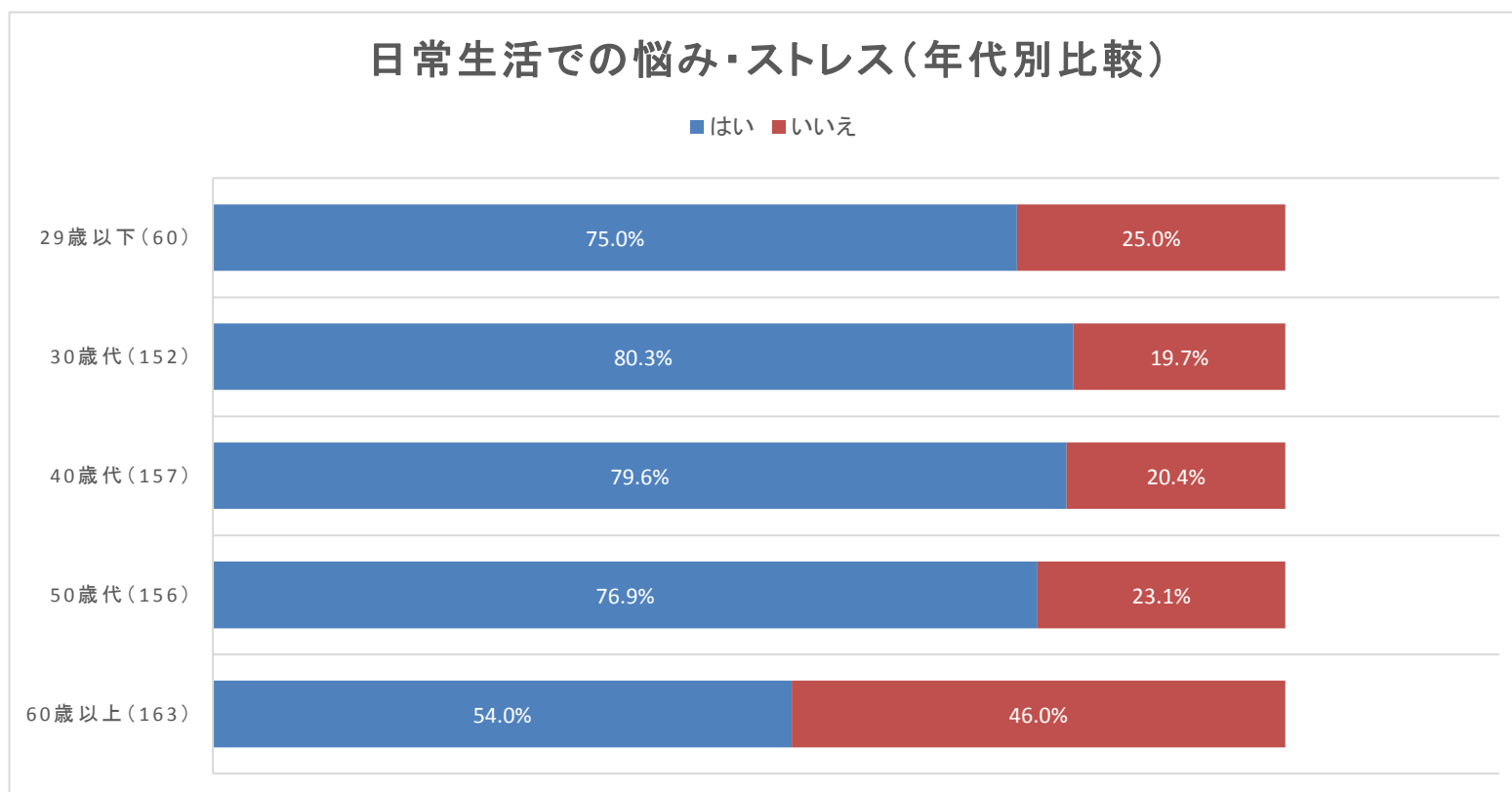


問3 日常生活での悩みやストレスはありますか。

	男性 (332名)		女性 (356名)		モニター全体 (688名)	
はい	230	69.3%	270	75.8%	500	72.7%
いいえ	102	30.7%	86	24.2%	188	27.3%
合計	332	100.0%	356	100.0%	688	100.0%

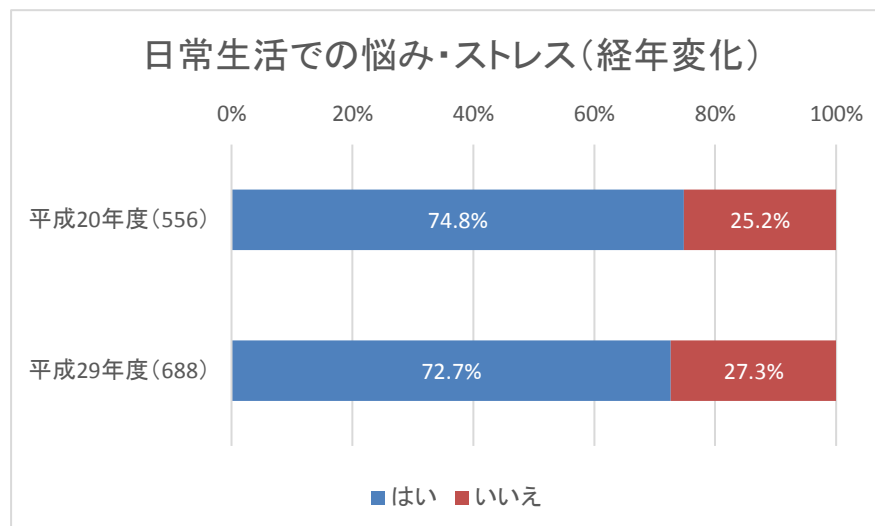
	29歳以下 (60名)		30歳代 (152名)		40歳代 (157名)		50歳代 (156名)		60歳以上 (163名)		モニター全体 (688名)	
はい	45	75.0%	122	80.3%	125	79.6%	120	76.9%	88	54.0%	500	72.7%
いいえ	15	25.0%	30	19.7%	32	20.4%	36	23.1%	75	46.0%	188	27.3%
合計	60	100.0%	152	100.0%	157	100.0%	156	100.0%	163	100.0%	688	100.0%

- 全体の傾向
 - ・全体の7割が日常生活において悩みやストレスがある。
- 性別による傾向
 - ・女性の方が悩みやストレスがあると答えた割合がやや高い。
- 年代別の傾向
 - ・60歳以上で悩みやストレスがあると答えた割合が特に低い。



- 過去の調査との比較
 - ・前回調査と比べて、悩みやストレスを感じている人の割合に大きな変化は見られない。

	平成20年度 (556名)		平成29年度 (688名)	
はい	416	74.8%	500	72.7%
いいえ	140	25.2%	188	27.3%
合計	556	100.0%	688	100.0%



問4 (問3で「1. はい」を選ばれた方のみお答えください。)

あなたの悩みやストレスとはどんな内容ですか。当てはまるものをすべて選択してください。

(複数回答可)

	男性 (230名)		女性 (270名)		モニター全体 (500名)	
将来・老後	111	48.3%	131	48.5%	242	48.4%
現在の収入	90	39.1%	109	40.4%	199	39.8%
仕事に関すること(失業以外)	117	50.9%	75	27.8%	192	38.4%
自分の健康・病気	94	40.9%	98	36.3%	192	38.4%
家族の健康・病気	75	32.6%	104	38.5%	179	35.8%
家族以外の人との人間関係	72	31.3%	80	29.6%	152	30.4%
家族との人間関係	60	26.1%	78	28.9%	138	27.6%
家族の介護	39	17.0%	52	19.3%	91	18.2%
自由にできる時間がない	31	13.5%	50	18.5%	81	16.2%
借金やローン	41	17.8%	32	11.9%	73	14.6%
生きがい	35	15.2%	34	12.6%	69	13.8%
失業・失業の不安	30	13.0%	26	9.6%	56	11.2%
よくわからないが、もやもやしている	23	10.0%	22	8.1%	45	9.0%
恋愛・結婚	28	12.2%	17	6.3%	45	9.0%
話し相手がない	19	8.3%	23	8.5%	42	8.4%
身近な人の死	12	5.2%	19	7.0%	31	6.2%
その他	10	4.3%	20	7.4%	30	6.0%

(複数回答可)

	29歳以下 (45名)		30歳代 (122名)		40歳代 (125名)		50歳代 (120名)		60歳以上 (88名)		モニター全体 (500名)	
将来・老後	19	42.2%	62	50.8%	60	48.0%	58	48.3%	43	48.9%	242	48.4%
現在の収入	19	42.2%	59	48.4%	47	37.6%	49	40.8%	25	28.4%	199	39.8%
仕事に関すること (失業以外)	23	51.1%	52	42.6%	67	53.6%	44	36.7%	6	6.8%	192	38.4%
自分の健康・病気	12	26.7%	41	33.6%	42	33.6%	51	42.5%	46	52.3%	192	38.4%
家族の健康・病気	11	24.4%	40	32.8%	42	33.6%	45	37.5%	41	46.6%	179	35.8%
家族以外の人との 人間関係	20	44.4%	37	30.3%	37	29.6%	37	30.8%	21	23.9%	152	30.4%
家族との人間関係	16	35.6%	26	21.3%	30	24.0%	37	30.8%	29	33.0%	138	27.6%
家族の介護	5	11.1%	10	8.2%	23	18.4%	35	29.2%	18	20.5%	91	18.2%
自由にできる時間がない	9	20.0%	37	30.3%	20	16.0%	8	6.7%	7	8.0%	81	16.2%
借金やローン	5	11.1%	15	12.3%	22	17.6%	26	21.7%	5	5.7%	73	14.6%
生きがい	6	13.3%	14	11.5%	24	19.2%	13	10.8%	12	13.6%	69	13.8%
失業・失業の不安	2	4.4%	12	9.8%	23	18.4%	17	14.2%	2	2.3%	56	11.2%
よくわからないが、 もやもやしている	6	13.3%	8	6.6%	17	13.6%	6	5.0%	8	9.1%	45	9.0%
恋愛・結婚	9	20.0%	12	9.8%	15	12.0%	7	5.8%	2	2.3%	45	9.0%
話し相手がない	7	15.6%	6	4.9%	11	8.8%	10	8.3%	8	9.1%	42	8.4%
身近な人の死	2	4.4%	6	4.9%	9	7.2%	8	6.7%	6	6.8%	31	6.2%
その他	4	8.9%	9	7.4%	8	6.4%	3	2.5%	6	6.8%	30	6.0%

●全体の傾向

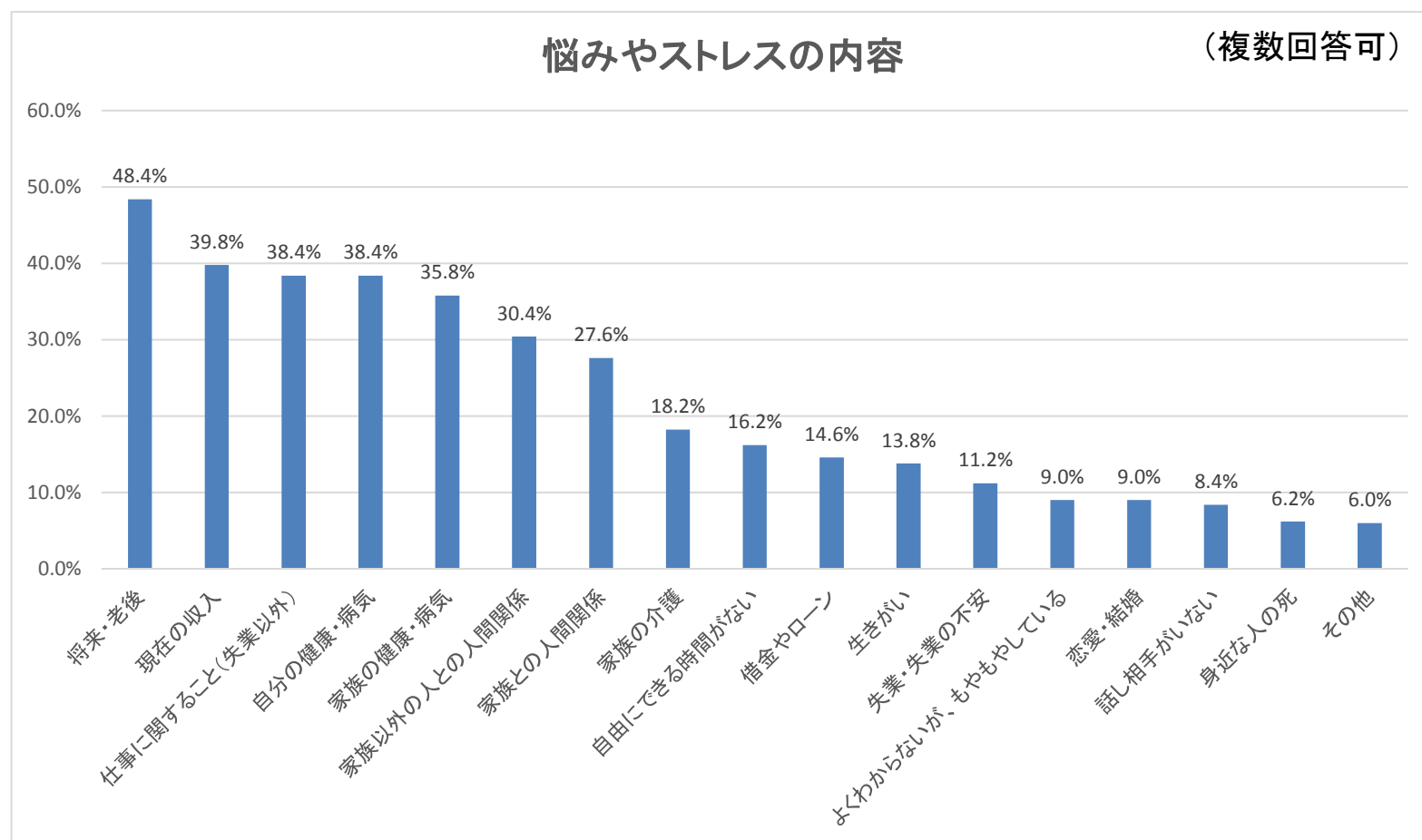
- ・「将来・老後」と回答された方の割合が最も高く、次いで「現在の収入」、「仕事に関すること」、「自分の健康・病気」の順となっている。

●性別による傾向

- ・「将来・老後」と回答された方の割合は男女ともに高く、それ以外の項目では男性では「仕事に関すること」、「自分の健康・病気」が高いが、対して女性では「現在の収入」、「家族の健康・病気」と悩みやストレスの内容が男女間で異なっている。

●年代別の傾向

- ・「自分の健康・病気」、「家族の健康・病気」と回答された方の割合は年代が上がるにつれ増加している。
- ・「家族との人間関係」、「家族以外の人との人間関係」では29歳以下の割合が他の年代に比べ高くなっている。



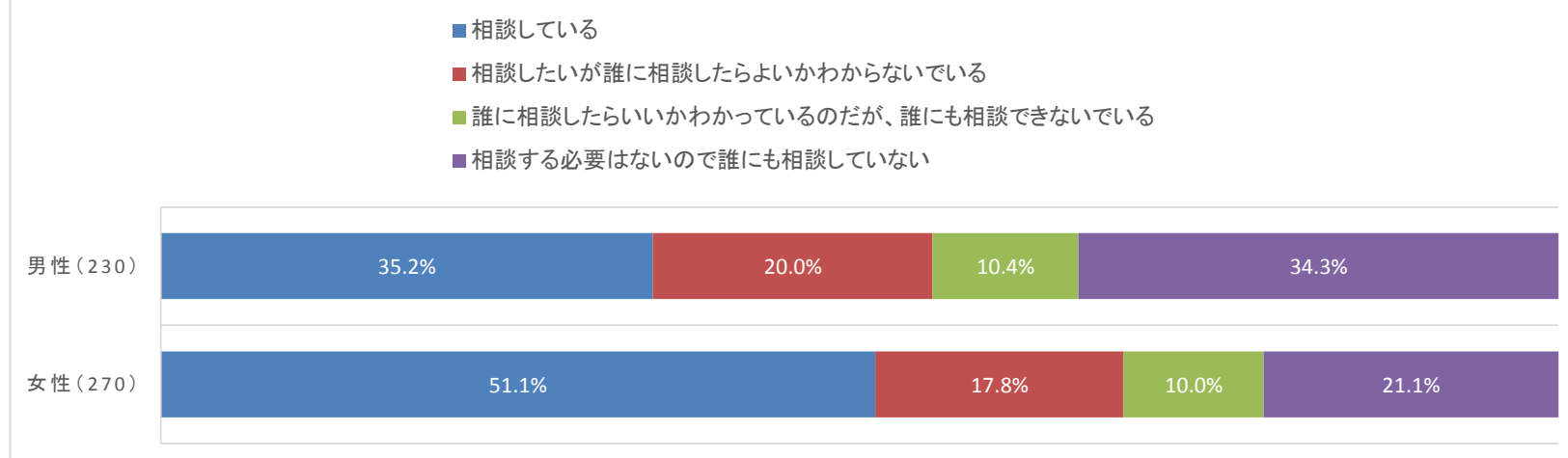
問5 (問3で「1. はい」を選ばれた方のみお答えください。)
悩みやストレスを日ごろ誰かに相談していますか。

	男性 (230名)		女性 (270名)		モニター全体 (500名)	
相談している	81	35.2%	138	51.1%	219	43.8%
相談したいが誰に相談したらよいか わからないでいる	46	20.0%	48	17.8%	94	18.8%
誰に相談したらいいかわかっているのだが、 誰にも相談できないでいる	24	10.4%	27	10.0%	51	10.2%
相談する必要はないので誰にも相談して いない	79	34.3%	57	21.1%	136	27.2%
合計	230	100.0%	270	100.0%	500	100.0%

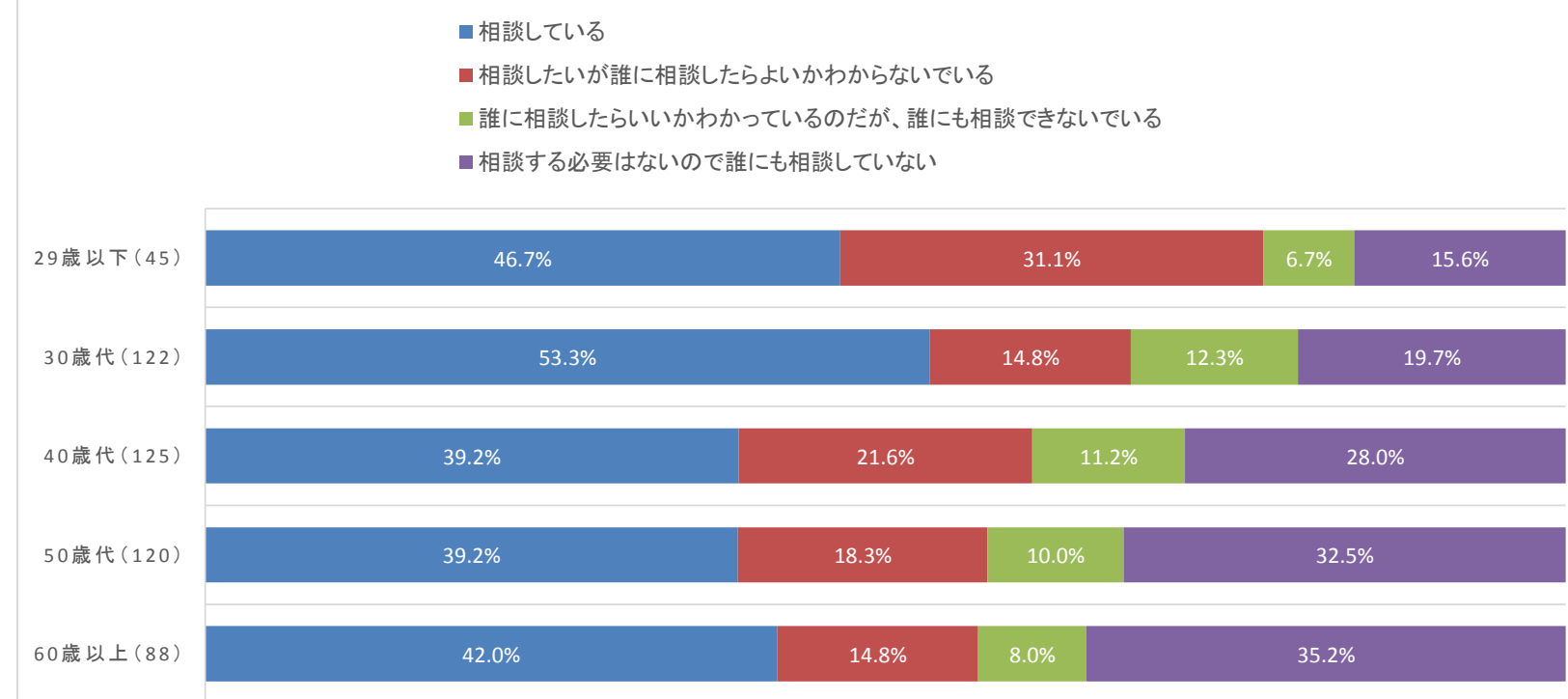
	29歳以下 (45名)		30歳代 (122名)		40歳代 (125名)		50歳代 (120名)		60歳以上 (88名)		モニター全体 (500名)	
相談している	21	46.7%	65	53.3%	49	39.2%	47	39.2%	37	42.0%	219	43.8%
相談したいが誰に相談したらよいかわからないでいる	14	31.1%	18	14.8%	27	21.6%	22	18.3%	13	14.8%	94	18.8%
誰に相談したらいいかわかっているのだが、誰にも相談できないでいる	3	6.7%	15	12.3%	14	11.2%	12	10.0%	7	8.0%	51	10.2%
相談する必要はないので誰にも相談していない	7	15.6%	24	19.7%	35	28.0%	39	32.5%	31	35.2%	136	27.2%
合計	45	100.0%	122	100.0%	125	100.0%	120	100.0%	88	100.0%	500	100.0%

- 全体の傾向
 - ・ 4割以上が相談しているものの、約3割は相談できずにいる。
- 性別による傾向
 - ・ 男性の方が相談している割合が低く、また相談の必要がないという割合も高い。
- 年代別の傾向
 - ・ 29歳以下において、誰に相談したらよいかわからないという割合が高い。
 - ・ 「相談する必要はない」と回答された方の割合は年代が上がるにつれ増加している。

悩みやストレスを誰かに相談しているか(男女別比較)



悩みやストレスを誰かに相談しているか(年代別比較)



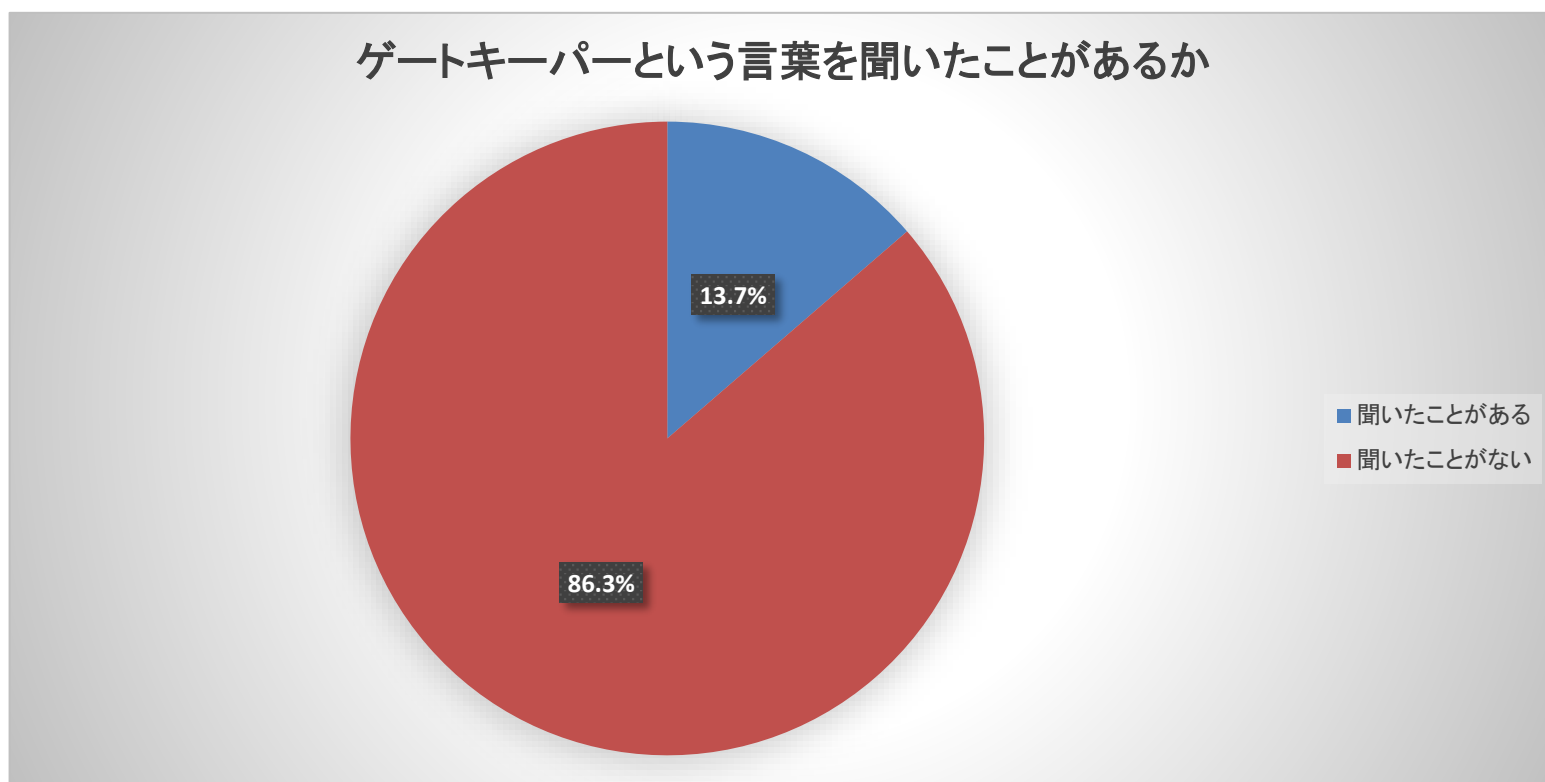
問6 自殺対策における「ゲートキーパー」という言葉を聞いたことがありますか。

	男性 (332名)		女性 (356名)		モニター全体 (688名)	
聞いたことがある	54	16.3%	40	11.2%	94	13.7%
聞いたことがない	278	83.7%	316	88.8%	594	86.3%
合計	332	100.0%	356	100.0%	688	100.0%

	29歳以下 (60名)		30歳代 (152名)		40歳代 (157名)		50歳代 (156名)		60歳以上 (163名)		モニター全体 (688名)	
聞いたことがある	8	13.3%	24	15.8%	26	16.6%	19	12.2%	17	10.4%	94	13.7%
聞いたことがない	52	86.7%	128	84.2%	131	83.4%	137	87.8%	146	89.6%	594	86.3%
合計	60	100.0%	152	100.0%	157	100.0%	156	100.0%	163	100.0%	688	100.0%

●全体の傾向

- ・「ゲートキーパー」という言葉を聞いたことがあるのは13.7%に過ぎない。



問7 (問6で「1. 聞いたことがある」を選ばれた方のみお答えください。)
自殺対策における「ゲートキーパー」の役割を知っていますか。

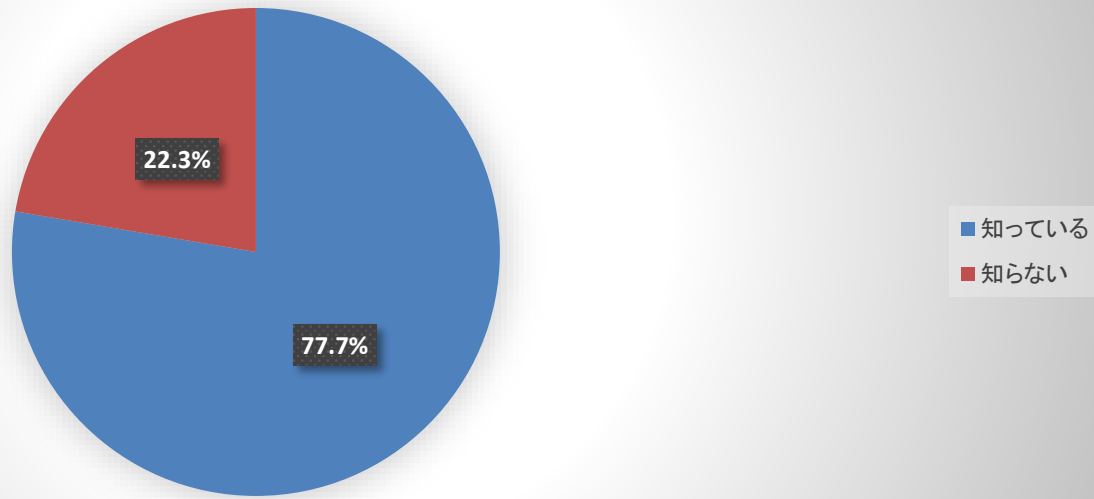
	男性 (54名)		女性 (40名)		モニター全体 (94名)	
知っている	42	77.8%	31	77.5%	73	77.7%
知らない	12	22.2%	9	22.5%	21	22.3%
合計	54	100.0%	40	100.0%	94	100.0%

	29歳以下 (8名)		30歳代 (24名)		40歳代 (26名)		50歳代 (19名)		60歳以上 (17名)		モニター全体 (94名)	
知っている	6	75.0%	19	79.2%	19	73.1%	16	84.2%	13	76.5%	73	77.7%
知らない	2	25.0%	5	20.8%	7	26.9%	3	15.8%	4	23.5%	21	22.3%
合計	8	100.0%	24	100.0%	26	100.0%	19	100.0%	17	100.0%	94	100.0%

●全体の傾向

- ・「ゲートキーパー」の言葉を知っている人はその役割についても知っている人が多い。

ゲートキーパーの役割を知っているか



問8 大阪市の自殺死亡率が、長年にわたって全国平均より高いことを知っていますか。

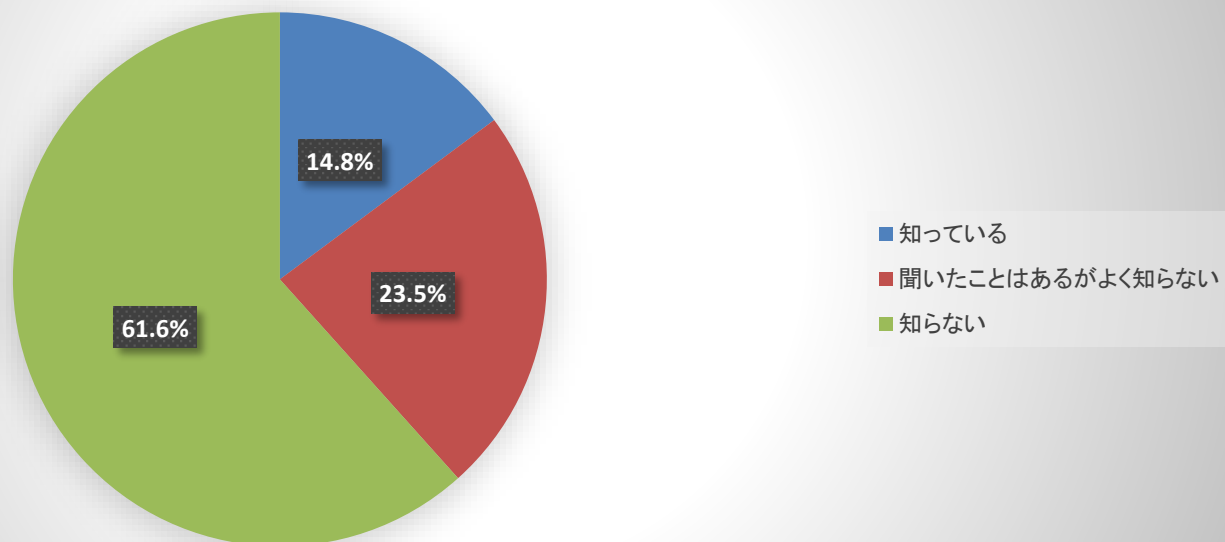
	男性 (332名)		女性 (356名)		モニター全体 (688名)	
知っている	58	17.5%	44	12.4%	102	14.8%
聞いたことはあるが よく知らない	90	27.1%	72	20.2%	162	23.5%
知らない	184	55.4%	240	67.4%	424	61.6%
合計	332	100.0%	356	100.0%	688	100.0%

	29歳以下 (60名)		30歳代 (152名)		40歳代 (157名)		50歳代 (156名)		60歳以上 (163名)		モニター全体 (688名)	
知っている	8	13.3%	20	13.2%	20	12.7%	25	16.0%	29	17.8%	102	14.8%
聞いたことはあるが よく知らない	11	18.3%	22	14.5%	34	21.7%	37	23.7%	58	35.6%	162	23.5%
知らない	41	68.3%	110	72.4%	103	65.6%	94	60.3%	76	46.6%	424	61.6%
合計	60	100.0%	152	100.0%	157	100.0%	156	100.0%	163	100.0%	688	100.0%

●全体の傾向

- ・本市の自殺死亡率の高さについて知っている人は約15%に過ぎない。

大阪市の自殺死亡率が高いことを知っているか



問9 これまでのあなたの人生の中で、親族や友人・知人などが自殺をされた方が身近にいますか。

	男性 (332名)		女性 (356名)		モニター全体 (688名)	
いる	126	38.0%	118	33.1%	244	35.5%
いない	196	59.0%	234	65.7%	430	62.5%
答えたくない	10	3.0%	4	1.1%	14	2.0%
合計	332	100.0%	356	100.0%	688	100.0%

	29歳以下 (60名)		30歳代 (152名)		40歳代 (157名)		50歳代 (156名)		60歳以上 (163名)		モニター全体 (688名)	
いる	18	30.0%	43	28.3%	64	40.8%	59	37.8%	60	36.8%	244	35.5%
いない	41	68.3%	107	70.4%	91	58.0%	89	57.1%	102	62.6%	430	62.5%
答えたくない	1	1.7%	2	1.3%	2	1.3%	8	5.1%	1	0.6%	14	2.0%
合計	60	100.0%	152	100.0%	157	100.0%	156	100.0%	163	100.0%	688	100.0%

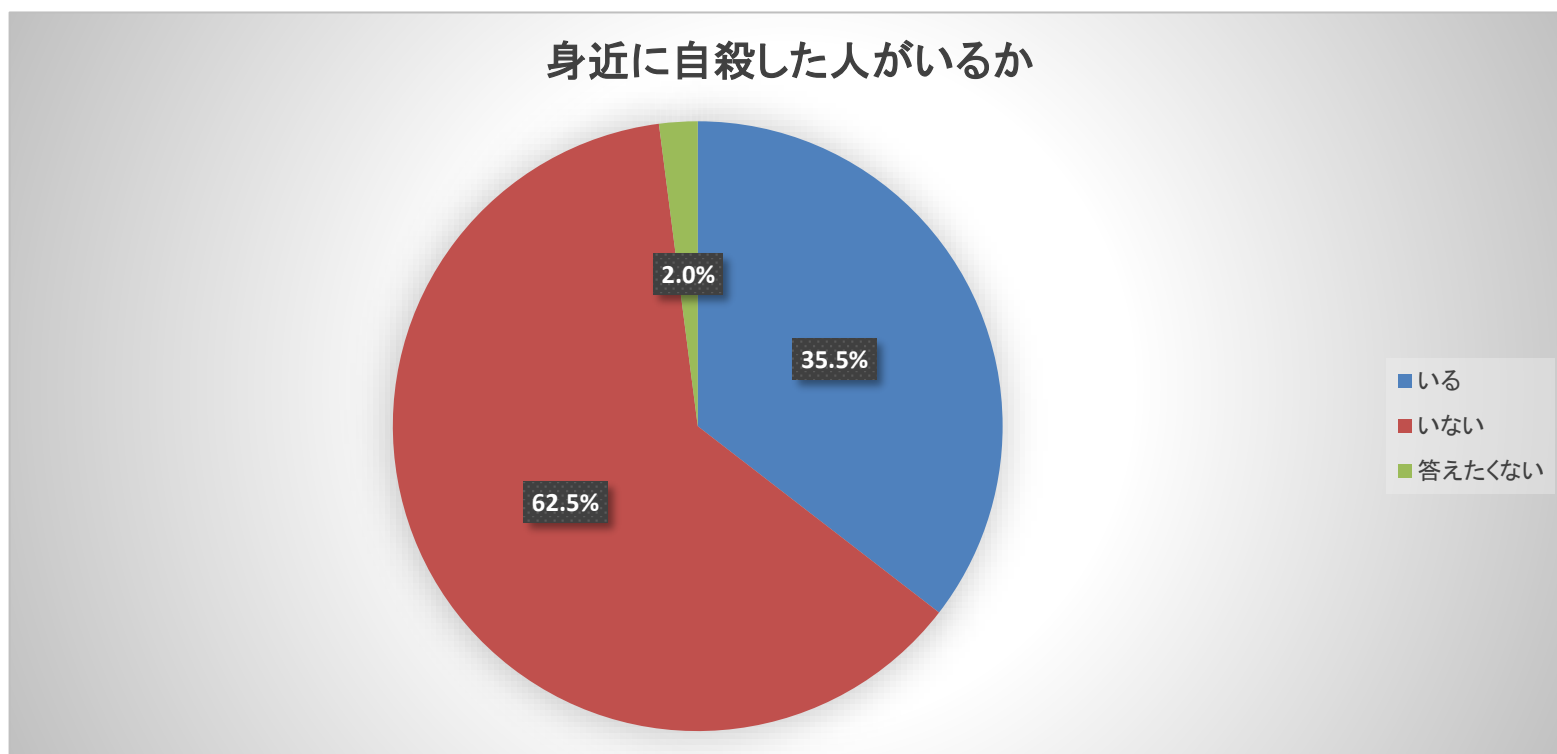
●全体の傾向

- ・ 約3分の1の方が身近な人を自殺で亡くした経験を持っている。

●過去の調査との比較

- ・ 身近な人を自殺で亡くした経験を持つ人は前回調査時より増加している。

	平成20年度 (546名)		平成29年度 (688名)	
いる	146	26.7%	244	35.5%
いない	381	69.8%	430	62.5%
答えたくない	19	3.5%	14	2.0%
合計	546	100.0%	688	100.0%

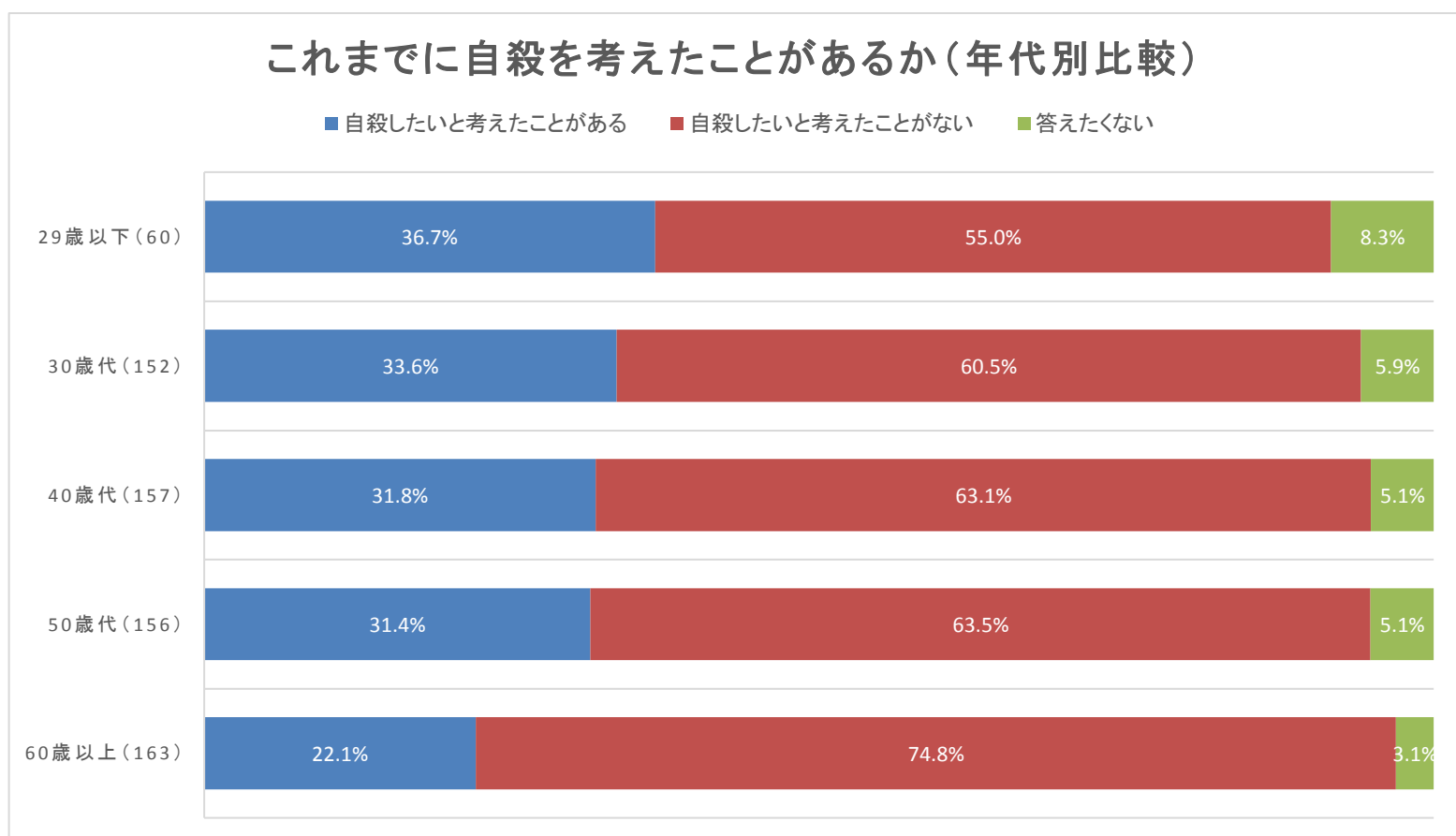
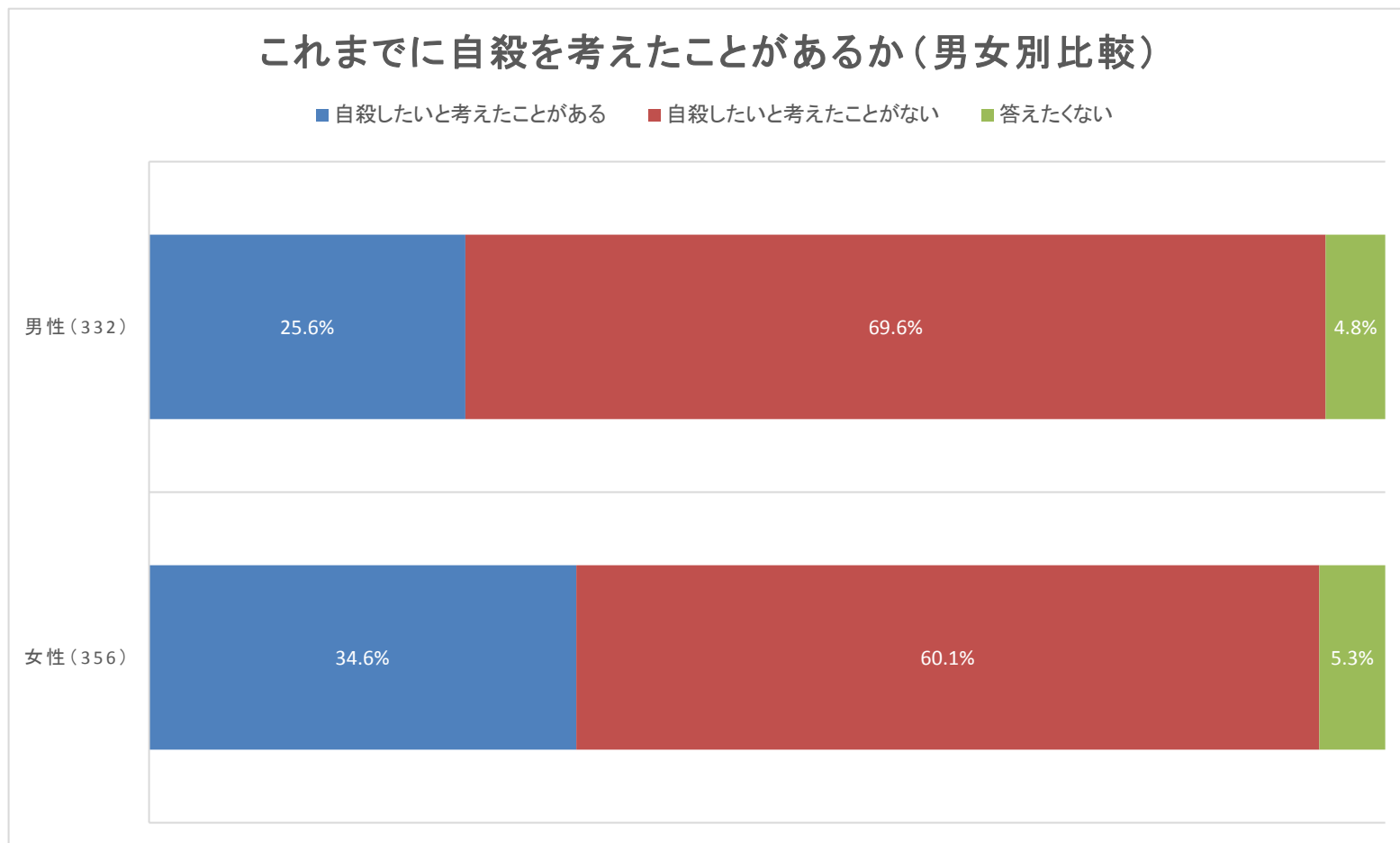


問10 あなたは、これまでの人生のなかで、本気で自殺したいと考えたことがありますか。

	男性 (332名)		女性 (356名)		モニター全体 (688名)	
自殺したいと考えたことがある	85	25.6%	123	34.6%	208	30.2%
自殺したいと考えたことがない	231	69.6%	214	60.1%	445	64.7%
答えたくない	16	4.8%	19	5.3%	35	5.1%
合計	332	100.0%	356	100.0%	688	100.0%

	29歳以下 (60名)		30歳代 (152名)		40歳代 (157名)		50歳代 (156名)		60歳以上 (163名)		モニター全体 (688名)	
自殺したいと考えたことがある	22	36.7%	51	33.6%	50	31.8%	49	31.4%	36	22.1%	208	30.2%
自殺したいと考えたことがない	33	55.0%	92	60.5%	99	63.1%	99	63.5%	122	74.8%	445	64.7%
答えたくない	5	8.3%	9	5.9%	8	5.1%	8	5.1%	5	3.1%	35	5.1%
合計	60	100.0%	152	100.0%	157	100.0%	156	100.0%	163	100.0%	688	100.0%

- 全体の傾向
 - ・ 3割の方が自殺を考えたことがある。
- 性別による傾向
 - ・ 女性の方が自殺を考えたことのある割合が高い。
- 年代別の傾向
 - ・ 年齢が低い方が自殺を考えたことのある割合が高い。



問11（問10で「1. 自殺したいと考えたことがある」を選択された方のみお答えください。）
過去1年以内に、自殺したいと考えたことはありますか。

	男性 (85名)		女性 (123名)		モニター全体 (208名)	
頻繁に考えた	5	5.9%	5	4.1%	10	4.8%
ときどき考えた	13	15.3%	26	21.1%	39	18.8%
あまり考えなかった	16	18.8%	22	17.9%	38	18.3%
全く考えなかった	49	57.6%	65	52.8%	114	54.8%
答えたくない	2	2.4%	5	4.1%	7	3.4%
合計	85	100.0%	123	100.0%	208	100.0%

	29歳以下 (22名)		30歳代 (51名)		40歳代 (50名)		50歳代 (49名)		60歳以上 (36名)		モニター全体 (208名)	
頻繁に考えた	1	4.5%	3	5.9%	3	6.0%	3	6.1%	0	0.0%	10	4.8%
ときどき考えた	3	13.6%	6	11.8%	12	24.0%	13	26.5%	5	13.9%	39	18.8%
あまり考えなかった	6	27.3%	13	25.5%	8	16.0%	9	18.4%	2	5.6%	38	18.3%
全く考えなかった	10	45.5%	27	52.9%	27	54.0%	23	46.9%	27	75.0%	114	54.8%
答えたくない	2	9.1%	2	3.9%	0	0.0%	1	2.0%	2	5.6%	7	3.4%
合計	22	100.0%	51	100.0%	50	100.0%	49	100.0%	36	100.0%	208	100.0%

●全体の傾向

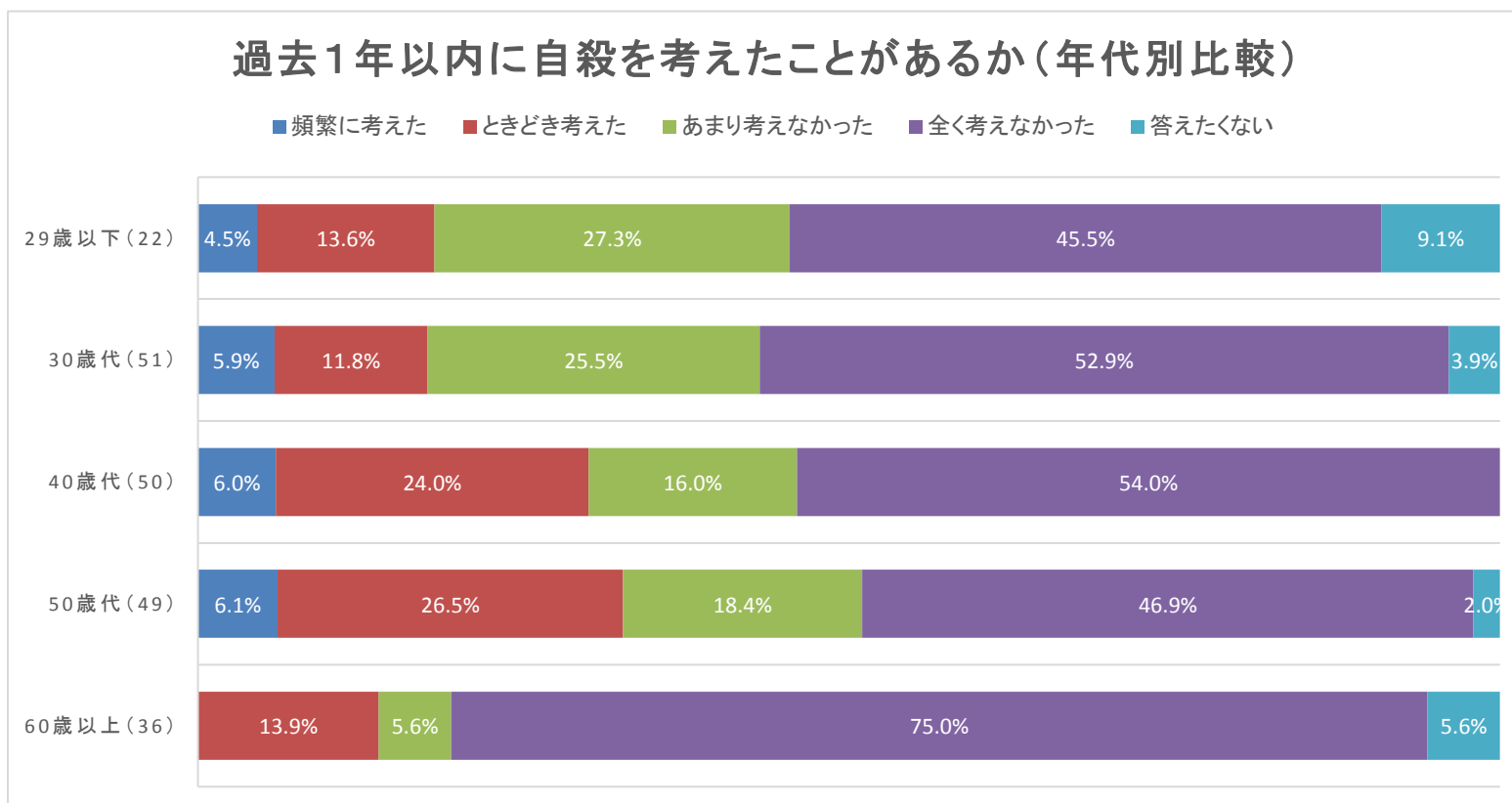
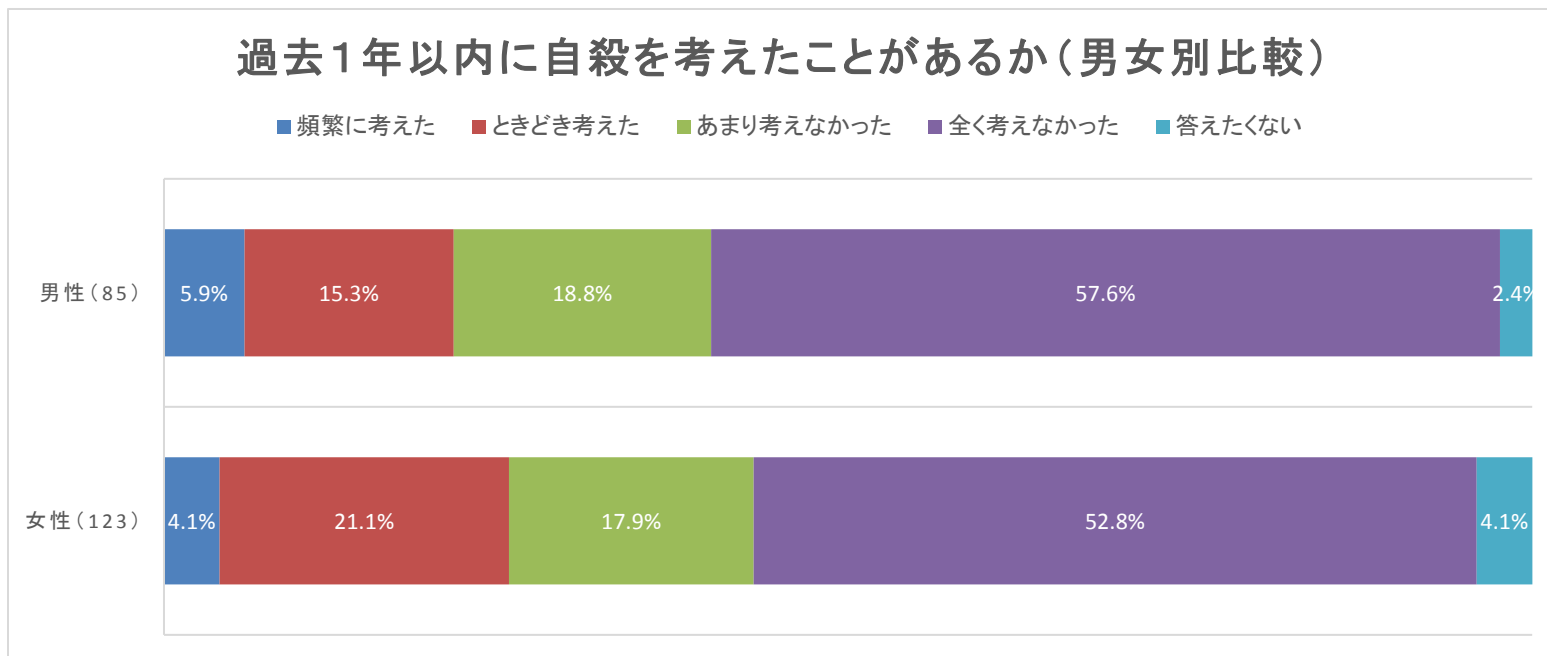
- ・自殺を考えたことがある人のうち、約2割が「頻繁に考えた」、「ときどき考えた」と回答している。

●性別による傾向

- ・「頻繁に考えた」、「ときどき考えた」と回答された方は男性が21.2%、女性が25.2%で女性の方がやや多い。

●年代別の傾向

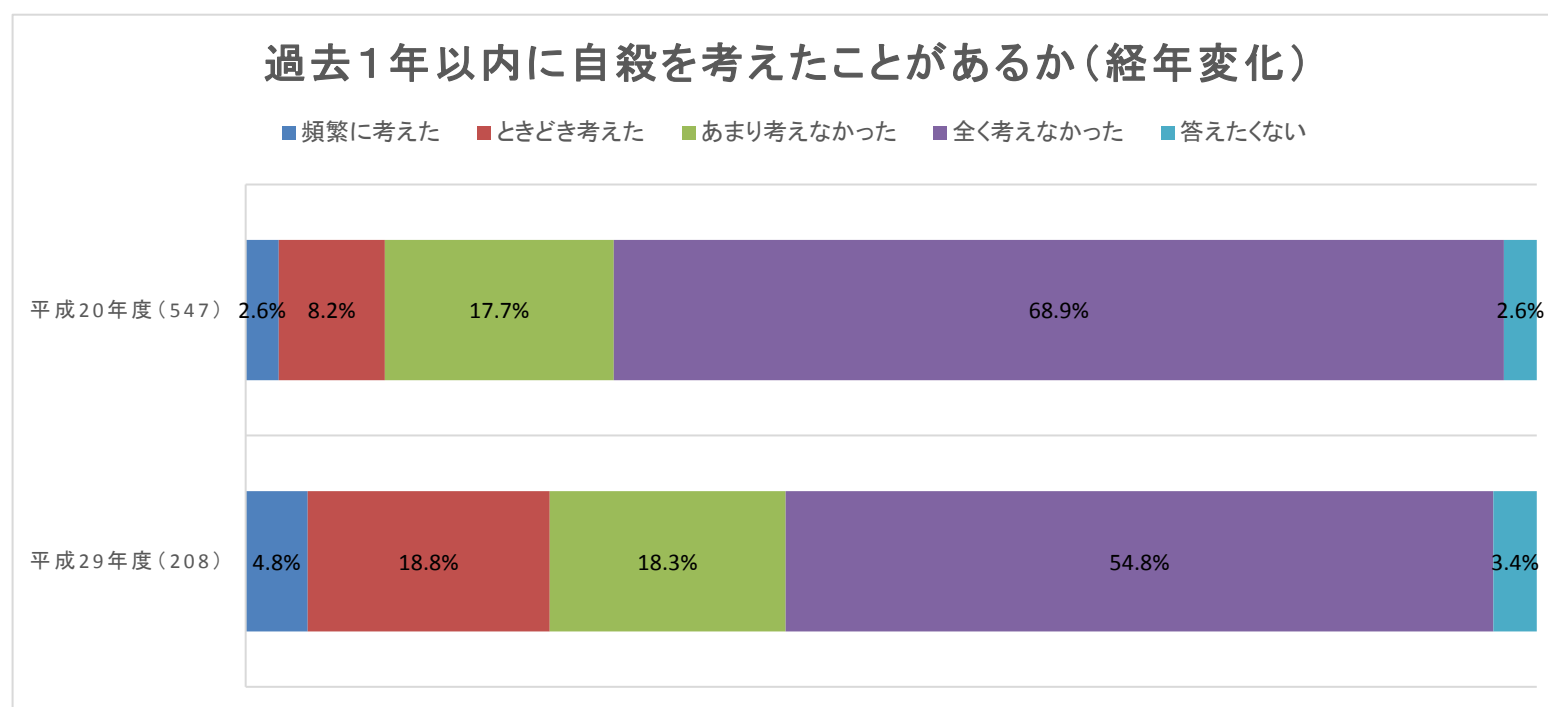
- ・「頻繁に考えた」、「ときどき考えた」と回答された方は29歳以下で18.2%、30歳代で17.6%、40歳代で30.0%、50歳代で32.7%、60歳以上で13.9%と40歳代と50歳代が多い。



●過去の調査との比較

- ・「頻繁に考えた」、「ときどき考えた」と回答された方は前回調査時に10.8%であったのに対して、今回調査では23.6%と増加した。

	平成20年度 (547名)		平成29年度 (208名)	
頻繁に考えた	14	2.6%	10	4.8%
ときどき考えた	45	8.2%	39	18.8%
あまり考えなかった	97	17.7%	38	18.3%
全く考えなかった	377	68.9%	114	54.8%
答えたくない	14	2.6%	7	3.4%
合計	547	100.0%	208	100.0%



問12 (問10で「1. 自殺したいと考えたことがある」を選択された方のみお答えください。) そのように考えたとき、どのようにして乗り越えましたか。当てはまるものをすべて選択してください。

(複数回答可)

	男性 (85名)		女性 (123名)		モニター全体 (208名)	
趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた	39	45.9%	40	32.5%	79	38.0%
家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった	24	28.2%	39	31.7%	63	30.3%
できるだけ休養を取るようにした	28	32.9%	24	19.5%	52	25.0%
医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した	17	20.0%	14	11.4%	31	14.9%
弁護士や司法書士、公的機関の相談員等、悩みの元となる分野の専門家に相談した	3	3.5%	0	0.0%	3	1.4%
その他	9	10.6%	15	12.2%	24	11.5%
特に何もしなかった	18	21.2%	37	30.1%	55	26.4%
答えたくない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

(複数回答可)

	29歳以下 (22名)		30歳代 (51名)		40歳代 (50名)		50歳代 (49名)		60歳以上 (36名)		モニター全体 (208名)	
趣味や仕事など他の ことで気を紛らわせる ように努めた	7	31.8%	17	33.3%	20	40.0%	21	42.9%	14	38.9%	79	38.0%
家族や友人、職場の 同僚など身近な人に悩 みを聞いてもらった	8	36.4%	19	37.3%	17	34.0%	14	28.6%	5	13.9%	63	30.3%
できるだけ休養を取る ようにした	6	27.3%	15	29.4%	10	20.0%	16	32.7%	5	13.9%	52	25.0%
医師やカウンセラー など心の健康に関する 専門家に相談した	5	22.7%	6	11.8%	8	16.0%	9	18.4%	3	8.3%	31	14.9%
弁護士や司法書士、 公的機関の相談員等、 悩みの元となる分野の 専門家に相談した	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	2	4.1%	0	0.0%	3	1.4%
その他	4	18.2%	6	11.8%	7	14.0%	3	6.1%	4	11.1%	24	11.5%
特に何もしなかった	5	22.7%	14	27.5%	17	34.0%	8	16.3%	11	30.6%	55	26.4%
答えたくない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

●全体の傾向

- ・「身近な人」、「心の健康に関する専門家」、「悩みの元となる分野の専門家」のいずれかに相談したと回答された方は38.0%であった。

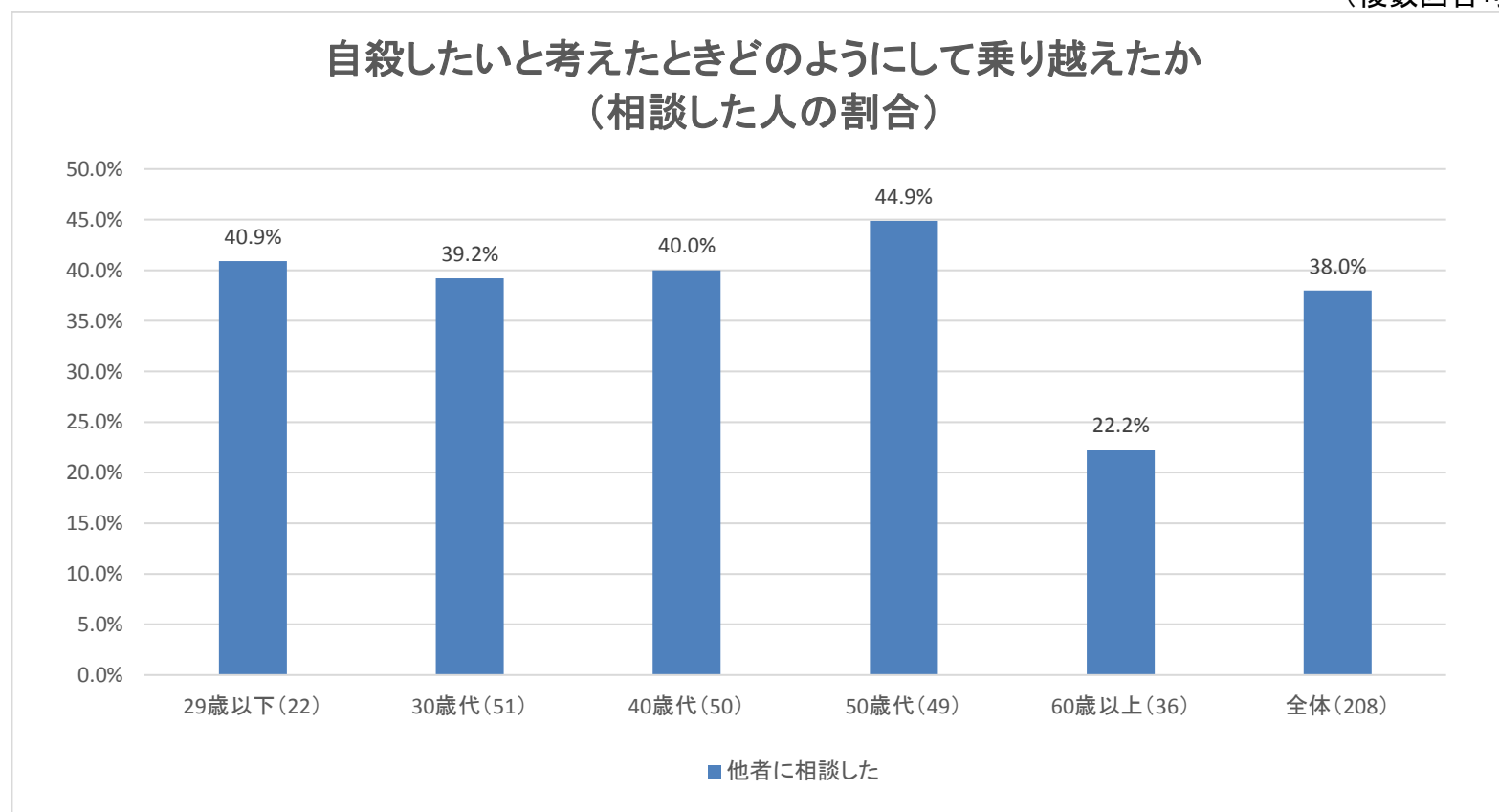
●性別による傾向

- ・女性の方が「特に何もしなかった」と回答された方の割合が高い。

●年代別の傾向

- ・「身近な人」、「心の健康に関する専門家」、「悩みの元となる分野の専門家」のいずれかに相談したと回答された方は29歳以下で40.9%、30歳代で39.2%、40歳代で40.0%、50歳代で44.9%、60歳以上で22.2%と60歳以上が特に少ない。

(複数回答可)



(注意)「身近な人」、「心の健康に関する専門家」、「悩みの元となる分野の専門家」のいずれかに相談したと回答した方を「他者に相談した」とまとめて表記しています

問13 「自殺」に代わって「自死」という言葉を使いたいとの希望が「遺族の会」より出されています。あなたはこれまで「自死」という言葉をご存知でしたか。

	男性 (332名)		女性 (356名)		モニター全体 (688名)	
知っている	94	28.3%	111	31.2%	205	29.8%
聞いたことはあるが よく知らない	72	21.7%	75	21.1%	147	21.4%
知らない	166	50.0%	170	47.8%	336	48.8%
合計	332	100.0%	356	100.0%	688	100.0%

	29歳以下 (60名)		30歳代 (152名)		40歳代 (157名)		50歳代 (156名)		60歳以上 (163名)		モニター全体 (688名)	
知っている	8	13.3%	37	24.3%	51	32.5%	48	30.8%	61	37.4%	205	29.8%
聞いたことはあるが よく知らない	14	23.3%	30	19.7%	35	22.3%	37	23.7%	31	19.0%	147	21.4%
知らない	38	63.3%	85	55.9%	71	45.2%	71	45.5%	71	43.6%	336	48.8%
合計	60	100.0%	152	100.0%	157	100.0%	156	100.0%	163	100.0%	688	100.0%

●全体の傾向

- ・ 聞いたことはあるという方も含めると約7割の方が「自死」という言葉を知らない。

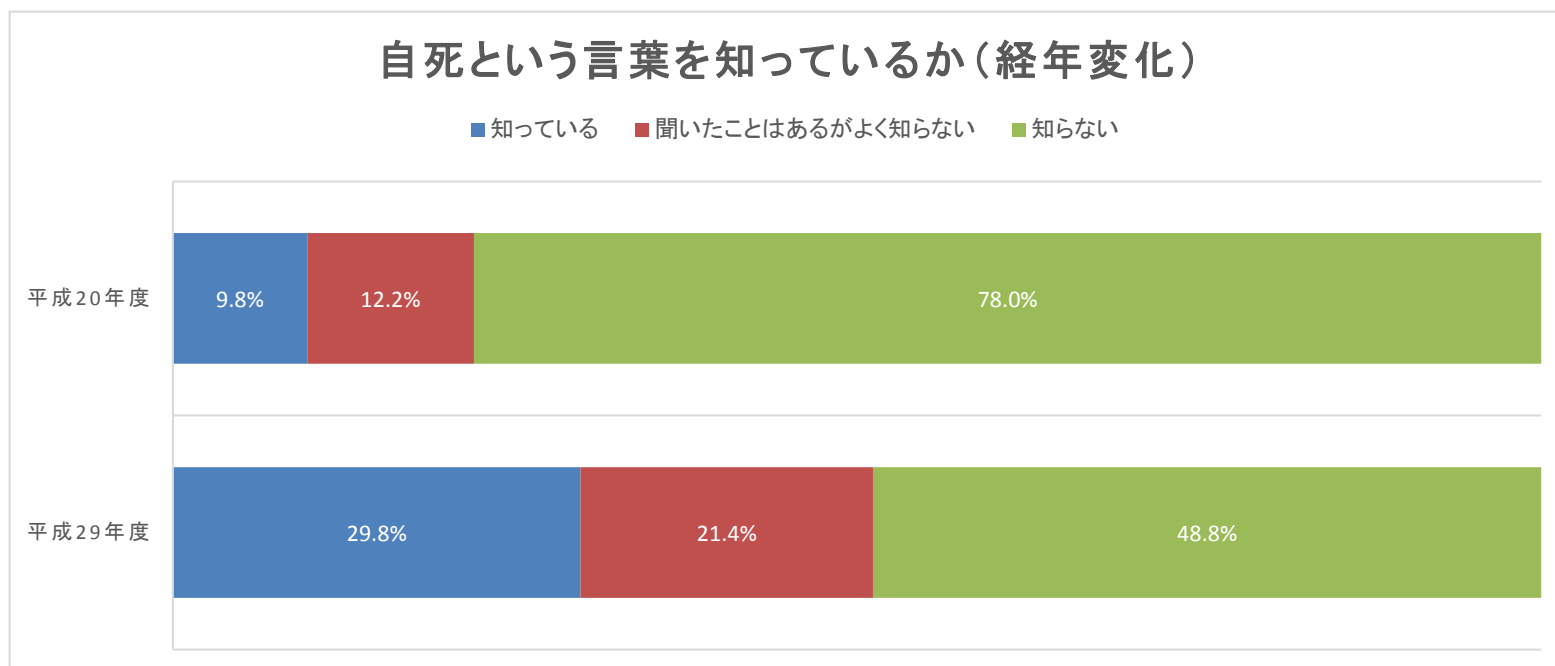
●年代別の傾向

- ・ 「自死」という言葉を知っている方の割合は年代が上がるにつれ増加している。

	平成20年度 (550名)		平成29年度 (688名)	
知っている	54	9.8%	205	29.8%
聞いたことはあるが よく知らない	67	12.2%	147	21.4%
知らない	429	78.0%	336	48.8%
合計	550	100.0%	688	100.0%

●過去の調査との比較

- ・ 自死という言葉を知っている人の割合は約3倍に増えている。



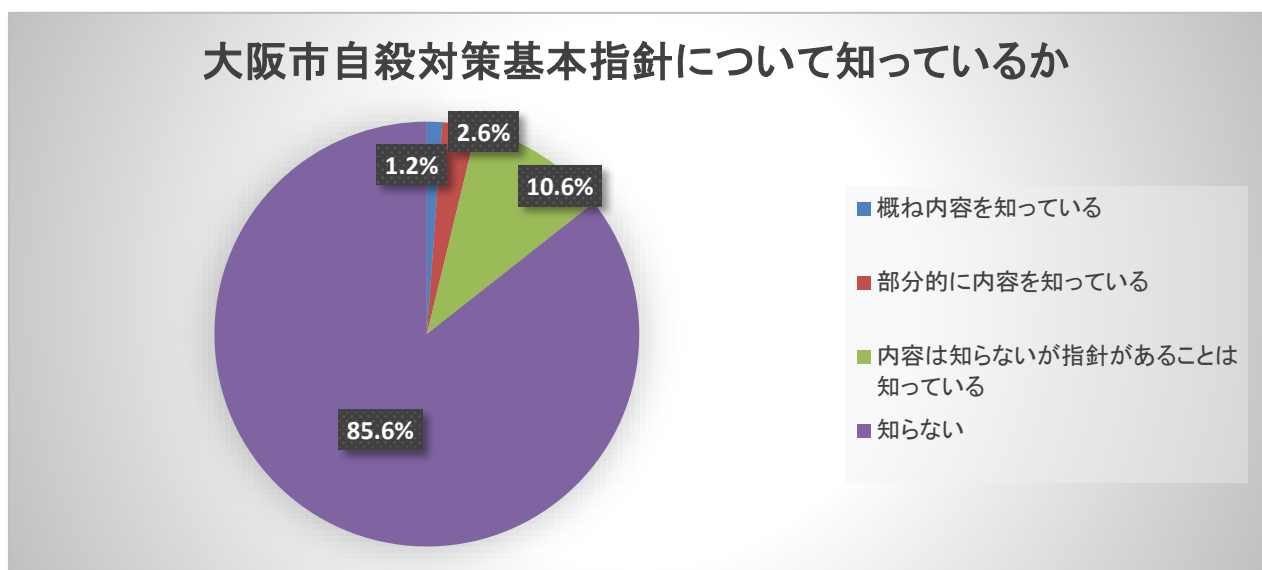
問14 あなたは「大阪市自殺対策基本指針」について、どの程度ご存知ですか。

	男性 (332名)		女性 (356名)		モニター全体 (688名)	
概ね内容を知っている	5	1.5%	3	0.8%	8	1.2%
部分的に内容を知っている	9	2.7%	9	2.5%	18	2.6%
内容は知らないが指針があることは知っている	36	10.8%	37	10.4%	73	10.6%
知らない	282	84.9%	307	86.2%	589	85.6%
合計	332	100.0%	356	100.0%	688	100.0%

	29歳以下 (60名)		30歳代 (152名)		40歳代 (157名)		50歳代 (156名)		60歳以上 (163名)		モニター全体 (688名)	
概ね内容を知っている	0	0.0%	2	1.3%	1	0.6%	3	1.9%	2	1.2%	8	1.2%
部分的に内容を知っている	3	5.0%	3	2.0%	4	2.5%	2	1.3%	6	3.7%	18	2.6%
内容は知らないが指針があることは知っている	7	11.7%	7	4.6%	14	8.9%	19	12.2%	26	16.0%	73	10.6%
知らない	50	83.3%	140	92.1%	138	87.9%	132	84.6%	129	79.1%	589	85.6%
合計	60	100.0%	152	100.0%	157	100.0%	156	100.0%	163	100.0%	688	100.0%

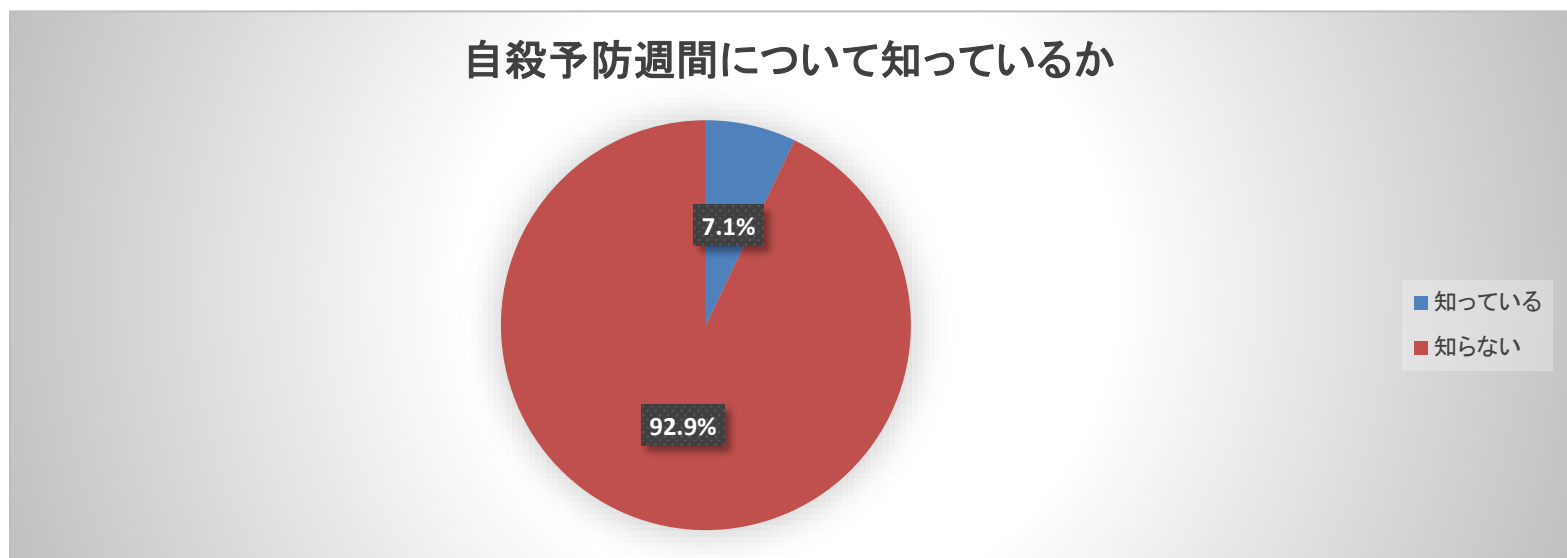
●全体の傾向

- ・ 約85%の人が基本指針があることを知らない。



問15 あなたは毎年9月10日から9月16日までが「自殺予防週間」であることを知っていますか。

	男性 (332名)		女性 (356名)		モニター全体 (688名)	
知っている	21	6.3%	28	7.9%	49	7.1%
知らない	311	93.7%	328	92.1%	639	92.9%
合計	332	100.0%	356	100.0%	688	100.0%

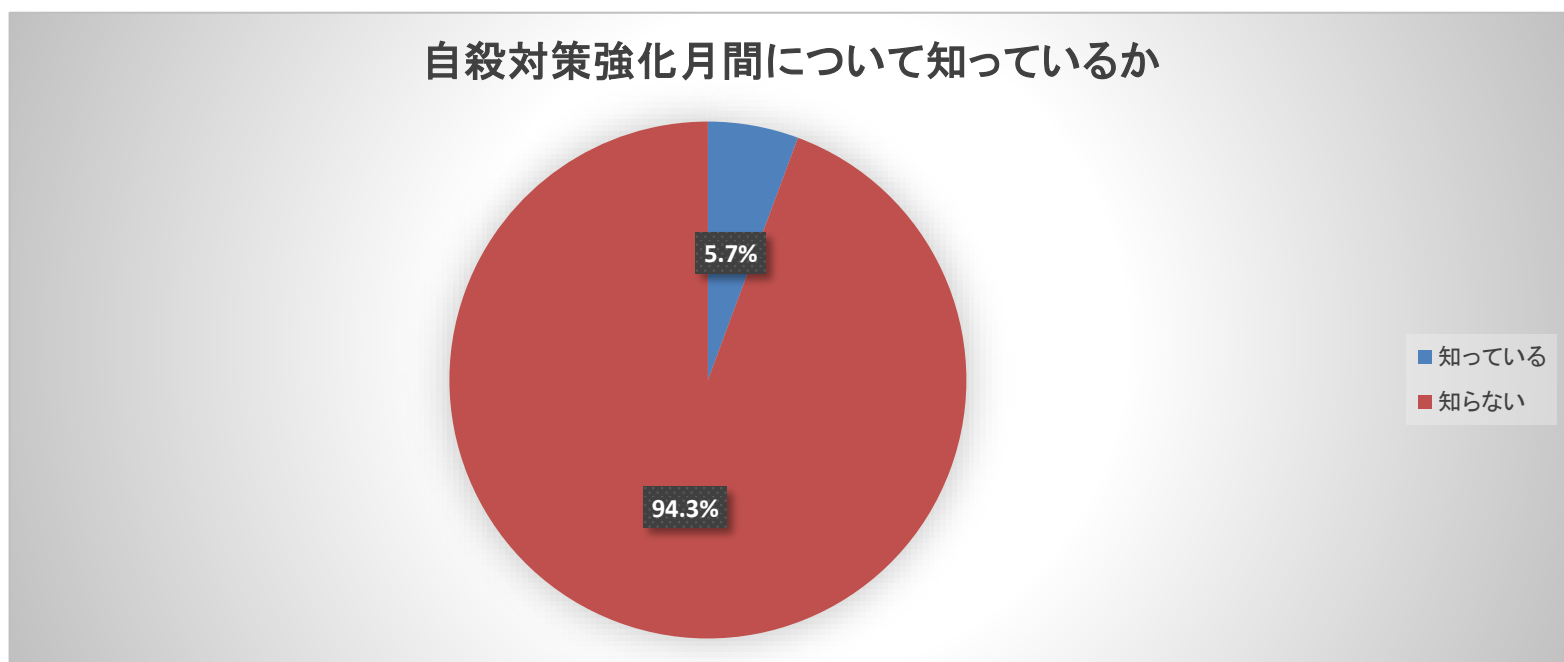


	29歳以下 (60名)		30歳代 (152名)		40歳代 (157名)		50歳代 (156名)		60歳以上 (163名)		モニター全体 (688名)	
知っている	8	13.3%	16	10.5%	8	5.1%	9	5.8%	8	4.9%	49	7.1%
知らない	52	86.7%	136	89.5%	149	94.9%	147	94.2%	155	95.1%	639	92.9%
合計	60	100.0%	152	100.0%	157	100.0%	156	100.0%	163	100.0%	688	100.0%

- 全体の傾向
 - ・ 9割を超える人が自殺予防週間を知らない。
- 年代別の傾向
 - ・ 30歳代以下の方が40歳代以上の年齢層よりやや認知度が高い。

問16 あなたは毎年3月が「自殺対策強化月間」であることを知っていますか。

	男性 (332名)		女性 (356名)		モニター全体 (688名)	
知っている	15	4.5%	24	6.7%	39	5.7%
知らない	317	95.5%	332	93.3%	649	94.3%
合計	332	100.0%	356	100.0%	688	100.0%



	29歳以下 (60名)		30歳代 (152名)		40歳代 (157名)		50歳代 (156名)		60歳以上 (163名)		モニター全体 (688名)	
知っている	6	10.0%	10	6.6%	7	4.5%	6	3.8%	10	6.1%	39	5.7%
知らない	54	90.0%	142	93.4%	150	95.5%	150	96.2%	153	93.9%	649	94.3%
合計	60	100.0%	152	100.0%	157	100.0%	156	100.0%	163	100.0%	688	100.0%

- 全体の傾向
 - ・ 9割を超える人が自殺対策強化月間を知らない。

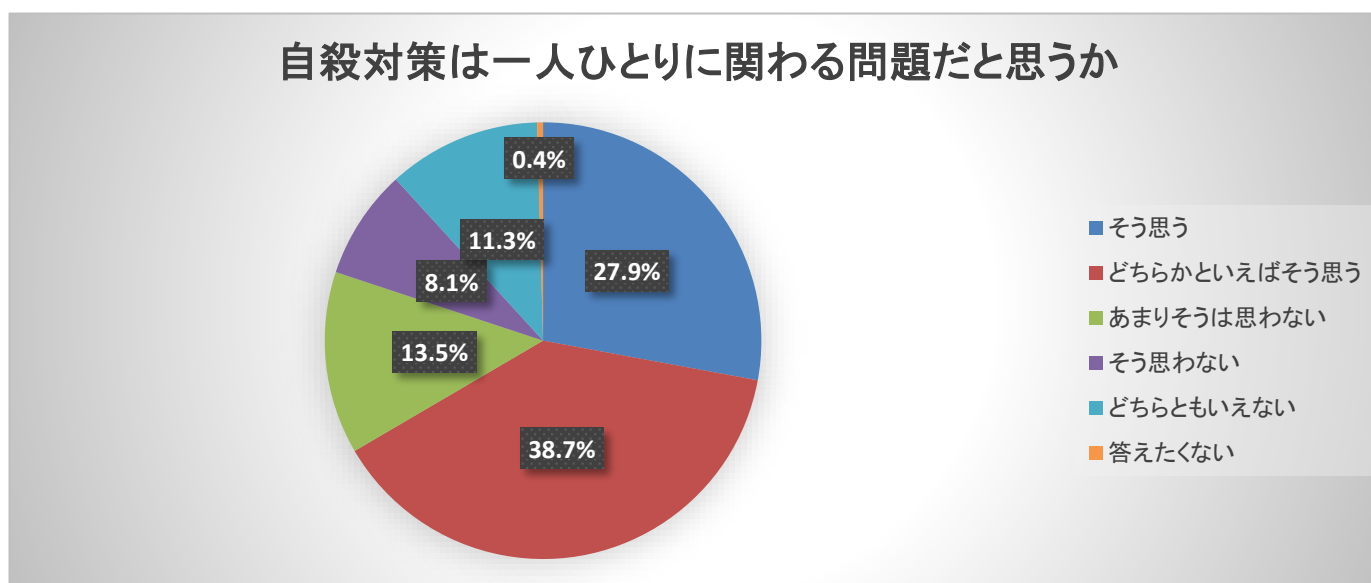
問17 自殺対策は市民一人ひとりに関わる問題だと思いますか。

	男性 (332名)		女性 (356名)		モニター全体 (688名)	
そう思う	99	29.8%	93	26.1%	192	27.9%
どちらかといえばそう思う	123	37.0%	143	40.2%	266	38.7%
あまりそうは思わない	42	12.7%	51	14.3%	93	13.5%
そう思わない	33	9.9%	23	6.5%	56	8.1%
どちらともいえない	33	9.9%	45	12.6%	78	11.3%
答えたくない	2	0.6%	1	0.3%	3	0.4%
合計	332	100.0%	356	100.0%	688	100.0%

	29歳以下 (60名)		30歳代 (152名)		40歳代 (157名)		50歳代 (156名)		60歳以上 (163名)		モニター全体 (688名)	
そう思う	19	31.7%	43	28.3%	50	31.8%	45	28.8%	35	21.5%	192	27.9%
どちらかといえば そう思う	21	35.0%	66	43.4%	64	40.8%	57	36.5%	58	35.6%	266	38.7%
あまりそうは思わない	8	13.3%	21	13.8%	19	12.1%	23	14.7%	22	13.5%	93	13.5%
そう思わない	6	10.0%	11	7.2%	9	5.7%	9	5.8%	21	12.9%	56	8.1%
どちらかともいえない	5	8.3%	11	7.2%	15	9.6%	20	12.8%	27	16.6%	78	11.3%
答えたくない	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.3%	0	0.0%	3	0.4%
合計	60	100.0%	152	100.0%	157	100.0%	156	100.0%	163	100.0%	688	100.0%

●全体の傾向

- ・ 7割弱の方が自殺対策は市民一人ひとりに関わる問題であると思っているが、一方で約2割の方がそうではないと思っている。



問18 自殺対策として、あなたが大切だと思うことはどのようなものでしょうか。主なものを3つまで選択してください。
(複数回答可)

	男性 (332名)		女性 (356名)		モニター全体 (688名)	
学校でのいのちの教育	102	30.7%	132	37.1%	234	34.0%
職場や地域でのこころの相談の充実	114	34.3%	110	30.9%	224	32.6%
景気の早期回復	97	29.2%	89	25.0%	186	27.0%
自殺電話相談(例:「いのちの電話」など)	71	21.4%	76	21.3%	147	21.4%
もっと精神科を受診しやすくする	57	17.2%	85	23.9%	142	20.6%
家庭でのいのちの教育	53	16.0%	77	21.6%	130	18.9%
インターネットを利用したこころの相談	60	18.1%	68	19.1%	128	18.6%
学校や職場で、教師・上司等相談に応じる人への研修	53	16.0%	70	19.7%	123	17.9%
高齢者の孤立を防ぐ対策	59	17.8%	57	16.0%	116	16.9%
自殺防止に関する市民への啓発運動	61	18.4%	41	11.5%	102	14.8%
債務(借金返済)相談の充実	55	16.6%	34	9.6%	89	12.9%
自殺未遂者への支援	29	8.7%	35	9.8%	64	9.3%
かかりつけの医師の目くばり	14	4.2%	18	5.1%	32	4.7%
自殺者の親族等への支援	10	3.0%	16	4.5%	26	3.8%
宗教による相談やこころの支え	14	4.2%	9	2.5%	23	3.3%
その他	16	4.8%	16	4.5%	32	4.7%
特にない	6	1.8%	10	2.8%	16	2.3%

(複数回答可)

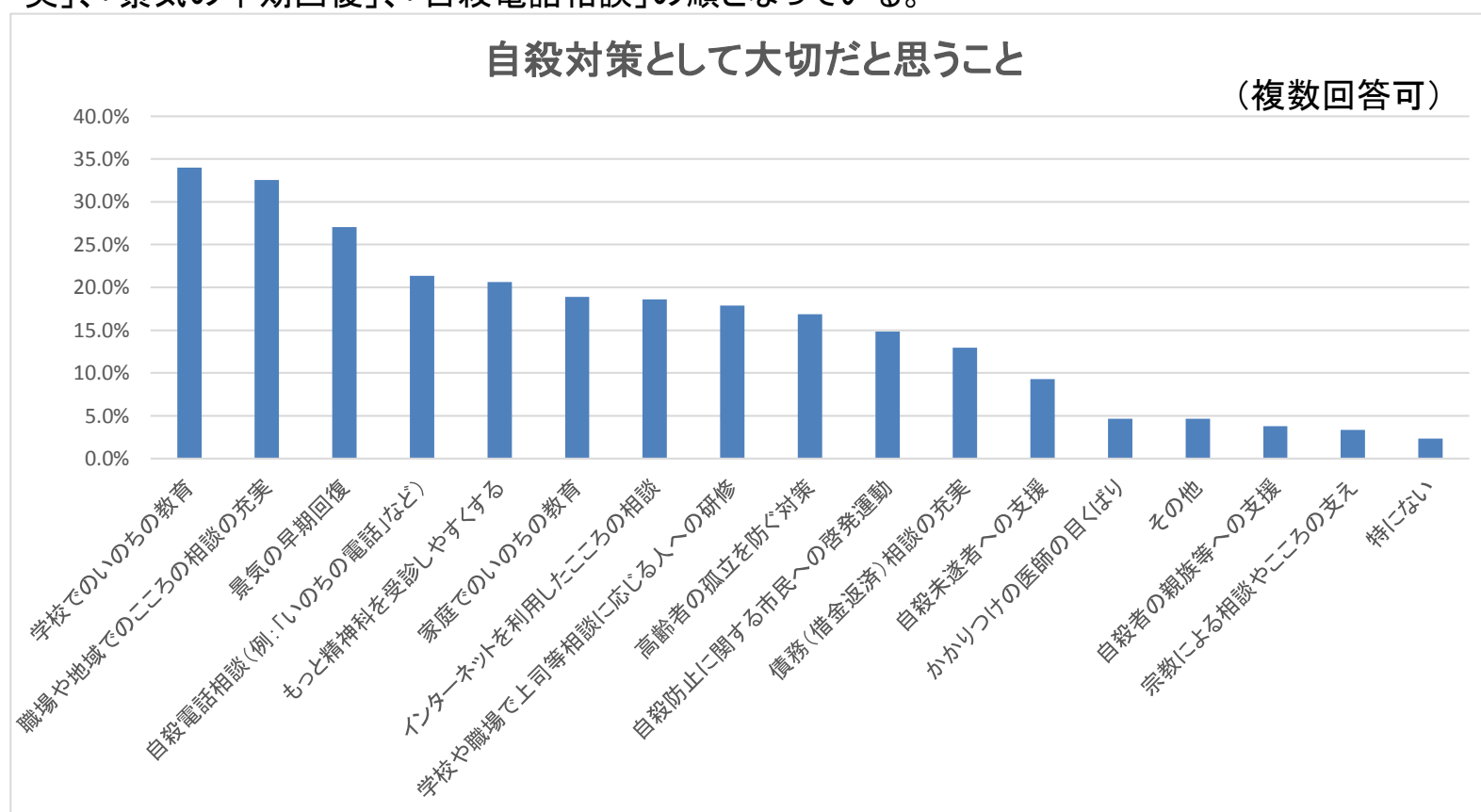
	29歳以下 (60名)		30歳代 (152名)		40歳代 (157名)		50歳代 (156名)		60歳以上 (163名)		モニター全体 (688名)	
学校でのいのちの教育	16	26.7%	57	37.5%	51	32.5%	44	28.2%	66	40.5%	234	34.0%
職場や地域でのこころの相談の充実	28	46.7%	52	34.2%	46	29.3%	45	28.8%	53	32.5%	224	32.6%
景気の早期回復	16	26.7%	48	31.6%	44	28.0%	41	26.3%	37	22.7%	186	27.0%
自殺電話相談(例: 「いのちの電話」など)	11	18.3%	26	17.1%	30	19.1%	42	26.9%	38	23.3%	147	21.4%
もっと精神科を受診しやすくする	15	25.0%	33	21.7%	37	23.6%	33	21.2%	24	14.7%	142	20.6%
家庭でのいのちの教育	8	13.3%	29	19.1%	33	21.0%	23	14.7%	37	22.7%	130	18.9%
インターネットを利用したこころの相談	14	23.3%	37	24.3%	39	24.8%	24	15.4%	14	8.6%	128	18.6%
学校や職場で、教師・上司等相談に応じる人への研修	17	28.3%	27	17.8%	25	15.9%	22	14.1%	32	19.6%	123	17.9%
高齢者の孤立を防ぐ対策	2	3.3%	16	10.5%	21	13.4%	32	20.5%	45	27.6%	116	16.9%
自殺防止に関する市民への啓発運動	10	16.7%	14	9.2%	20	12.7%	23	14.7%	35	21.5%	102	14.8%
債務(借金返済)相談の充実	7	11.7%	15	9.9%	22	14.0%	28	17.9%	17	10.4%	89	12.9%
自殺未遂者への支援	6	10.0%	21	13.8%	18	11.5%	12	7.7%	7	4.3%	64	9.3%
かかりつけの医師の目くばり	2	3.3%	3	2.0%	4	2.5%	10	6.4%	13	8.0%	32	4.7%
自殺者の親族等への支援	1	1.7%	7	4.6%	9	5.7%	5	3.2%	4	2.5%	26	3.8%
宗教による相談やこころの支え	0	0.0%	4	2.6%	10	6.4%	6	3.8%	3	1.8%	23	3.3%
その他	3	5.0%	7	4.6%	7	4.5%	10	6.4%	5	3.1%	32	4.7%
特になし	1	1.7%	1	0.7%	2	1.3%	6	3.8%	6	3.7%	16	2.3%

●性別による傾向

- ・ 男性では「職場や地域でのこころの相談の充実」と回答された方の割合が最も多いのに対して、女性では「学校でのいのちの教育」と回答された方の割合が最も多かった。

●全体の傾向

- ・ 「学校でのいのちの教育」と回答された方の割合が最も多く、次いで「職場や地域でのこころの相談の充実」、「景気の早期回復」、「自殺電話相談」の順となっている。



問19「大阪市の自殺対策」について、ご意見がございましたらご自由にお書きください。

●231名の方からご意見をいただきました。

自殺防止に関すること	99件
【主なご意見】	
相談場所の充実を図ってほしい	26件
社会全体で取り組むべき	19件
自治体の自殺対策だけでは限界がある	7件
設備・ハードを充実させてほしい	5件
労働環境を改善すべき	5件
理由や傾向を分析・把握すべき	4件
啓発に関すること	33件
教育に関すること	22件
医療に関すること	5件
その他のご意見	72件
【主なご意見】	
自殺についてあまり知らなかった	5件
大阪市の自殺死亡率が高いことに驚いている	3件